



## Cisco WebEx Meeting Center のリリースノート (WBS30)

初版：2015年07月16日

最終更新：2015年08月19日

### シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

Text Part Number:

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。



## 目次

### **WebEx Meeting Center のリリースノート (WBS30) 1**

Meeting Center の新機能 (WBS30) 1

Meeting Center の既知の問題および制限 (WBS30) 6

Meeting Center 用の Collaboration Meeting Rooms (CMR) の既知の問題と制限事項 12

### **WebEx の未解決および解決済みバグ (WBS30) 21**

バグ検索ツールの使用 21

WebEx Center の未解決バグ (WBS30) 22

WebEx の解決済みバグ (WBS30) 24

### **WebEx システム最小要件と機能対応のリリースノート (WBS30) 51**

多言語サポート (WBS30) 52

オペレーティングシステムとブラウザのサポート (WBS30) 53

Windows XP、Windows Server 2003、Mac OS X 10.6、および Internet Explorer 6 のサポート  
終了のお知らせ (WBS30) 54

Citrix XenDesktop および XenApp のサポート (WBS30) 55

クロスプラットフォーム機能 (WBS30) 55

クロスプラットフォームの既知の問題と制限事項 (WBS30) 66

### **WebEx 生産性向上ツールのリリースノート (WBS30) 71**

生産性向上ツールの新機能 (WBS30) 71

WebEx 生産性向上ツールのサポート (WBS30) 73

Windows Outlook XP、2003、および Mac OS X 10.6 のサポート終了のお知らせ  
(WBS30) 78

Windows 版の生産性向上ツールの既知の問題と制限 (WBS30) 78

Mac 版の生産性向上ツールの既知の問題と制限 (WBS30) 89

### **WebEx 音声のリリースノート (WBS30) 93**

WebEx 音声の新機能 (WBS30) 93

WebEx 音声機能 (WBS30) 94

WebEx 音声のよくある質問 (WBS30) 95

- WebEx 音声オプション (WBS30) 95
- WebEx 音声機能比較 (WBS30) 99
- WebEx ビデオのリリースノート (WBS30) 103**
  - ビデオの新機能 (WBS30) 103
  - 高精細ビデオの機能 (WBS30) 107
  - ビデオの最小要件 (WBS30) 110
  - 高画質ビデオ対応カメラ (WBS30) 111
  - 高精細ビデオ対応カメラ (WBS30) 112
  - ビデオの既知の問題および制限 (WBS30) 112
- WebEx サイト管理のリリースノート (WBS30) 115**
  - サイト管理の新機能 (WBS30) 115
  - サイト管理機能 (WBS30) 117
  - サイト管理の既知の問題および制限 (WBS30) 118



## 第 1 章

# WebEx Meeting Center のリリースノート (WBS30)

Meeting Center を使用してオンラインミーティングを開催しましょう。オンラインミーティングでは、情報をプレゼンテーションし、ドキュメントやアプリケーションを共有し、他のユーザーと協力することができます。このリリースノートでは Meeting Center の新機能について説明します。



(注)

Meeting Center では、Windows Me および NT に対するサポートを終了しました。Meeting Center で使用できるオペレーティングシステムおよびブラウザに関する詳細は、WebEx のクロスプラットフォームリリースノートと既知の問題を確認してください。

- [Meeting Center の新機能 \(WBS30\), 1 ページ](#)
- [Meeting Center の既知の問題および制限 \(WBS30\), 6 ページ](#)
- [Meeting Center 用の Collaboration Meeting Rooms \(CMR\) の既知の問題と制限事項, 12 ページ](#)

## Meeting Center の新機能 (WBS30)

次の一覧では Meeting Center の新機能と強化についてリリースバージョン番号と共に示しています。主要な更新が含まれないバージョンは一覧には含まれません。

### WBS30.1

#### Windows 10

WebEx の WBS30.1 以降、Microsoft Windows 10 の制限付きサポートを提供します。詳細については、クロスプラットフォームの既知の問題と制限 (*WebEx* システム要件と機能サポートのリリースノート) の項を参照してください。

## WBS30

### 共通 ID の連携

新たなプロビジョニングのための WebEx サイトではログイン課程とインタフェースが共通 ID に対応しました。これらのプロビジョニング WebEx サイトは、Cisco Spark と WebEx の共有 ID と共通管理を持つ共通設計でのみ利用できます。

マイ WebEx で表示される WebEx プロファイルが共通の WebEx プロファイルに対応しました。

### WebEx と Spark の連携

主催者はミーティング終了後、[会議室の作成] を選択することで自動的に Cisco Spark 会議室を作成することができます。Cisco Spark 会議室はミーティングの議題と参加者を自動的に加え、Cisco Spark 内に作成されます。

主催者がミーティングを終了する際に Cisco Spark 会議室を作成するかどうかの確認が行われません。

主催者は、この連携に対応させるために Cisco Collaboration Management ツールまたは WebEx サイト管理で WebEx と Cisco Spark の両方の権限が有効になっている必要があります。

Cisco Spark に関する詳細は *Cisco Spark* リリースノートを参照してください。 <https://support.ciscospark.com/customer/portal/topics/578993-updates-and-known-issues/articles>

## Windows 10

ユーザーが Windows 10 でミーティングを開始または参加して画面共有を行うための強化が施されました。

### 改良されたビデオ機能

ミーティング中のビデオアイアログボックスが改善されました:

- あなたのミーティング参加時に、ビデオのセルフビューがビデオダイアログボックス内に表示されるため、ビデオの開始が簡単になりました。ダイアログボックスには今後のミーティングであなたが既定のオプションとしてビデオを開始するための最も適切なオプションが表示されます。
- 新しいビデオオプションを使えば、すべてのミーティングでビデオの自動開始を有効および無効にすることができます。ミーティング参加時にビデオダイアログボックスを無効にするための新しいオプションも追加されました。

ビデオビューのビデオスクロールバーは左右に移動します。

ミーティングの出席者が二人しかいない場合、ビデオビューレイアウトオプションはありません。参加者には既定で相互のビデオが映し出されます。

改善により、最近使用されたビデオが自動検出されるようになりました。

### Windows 環境での通知とコントロールの改善

チャットパネルが閉じているまたは折りたたまれている状態では、ユーザーにはチャット通知が表示されません。

録画中、録画パネルが閉じているか折りたたまれている状態でエラーが発生した場合に通知が表示されユーザーを警告します。

一部のミーティング中のコントロールが統合整理されました:

- 画面共有を始めると [共有中] ボタンが緑に切り替わり、ミーティングで画面が共有されていることを示します。
- [挙手] アイコンが参加者名の横に移動しました。
- [音声] ボタンおよび [招待あるいは催促します] アイコンは必要ではないため削除されました。これらの機能にアクセスするには、[クイックスタート] ページまたはメニューコマンドに移動してください。
- [退出させる] コマンドは、出席者が参加者の名前を選択し、右クリックメニューからアクセスします。

## Help Central

オンラインヘルプとガイドが製品の外部にホスティングされました。ミーティング中の Help リンクを含むほとんどのお使いの WebEx サイト内のリンクが **Help Central** にアクセスします。この新しいリンク先ではトレーニング、ドキュメント、サポート支援などにアクセスできます。英語意外の言語が設定されているサイトではヘルプリンクは **Cisco.com** の関連ページに移動します。

すべての言語で、カスタマイズされたクイックスタートページの [その他] リンクは **Help Central** につながります。

## 対応言語

Meeting Center、Event Center、Training Center、および Support Center のデンマーク語およびトルコ語が Windows に対応しました。Mac 環境では Meeting Center のみがデンマーク語およびトルコ語に対応しました。

## パーソナル会議室ページ

パーソナル会議室ページが最適化かつ簡素化されたため、パーソナル会議室の情報を簡単に見つけ、すばやく入室できるようになりました

- [入室] および [ロビーに入る] ボタン (出席者ビューの **パーソナル会議室** ページに表示されるボタ) が [参加] に変更されました。
- パーソナル会議室 URL、番号、招待状情報は、[情報] アイコンを選択すると表示されます。
- [電話で参加] 情報は [詳細情報] リンクを選択した時のみ表示されます。

## パーソナル会議室 ID

WBS30 以降、主催者のパーソナル会議室 ID の管理方法が増えました

- 既定では WebEx は主催者のユーザー名かまたはメールアドレスの頭の箇所を使ってパーソナル会議室 ID を生成していました。サイト管理者は、ユーザーの名と姓、およびパーソナル会議室番号を使って固有の会議室 ID を生成することも可能になりました。
- 同じ名と姓を持つユーザーが二人以上いる場合、WebEx はランダムな番号を追加してパーソナル会議室 ID を生成します。ユーザーの名および姓にラテン語以外の文字が使用される場合、WebEx は pr とシステムにより生成される番号の組み合わせを使用します。

- サイト管理者がユーザーのパーソナル会議室 ID としてパーソナル会議室ミーティング番号の使用を選択している場合、パーソナル会議室 ID は pr + ミーティング番号の形式で表示されます。
- サイト管理者はユーザーのパーソナル会議室 ID を会社ポリシーに適したより良いものに変更するための権限を持っています。パーソナル会議室 ID を変更すると、デスクトップ、モバイルのウェブ URL、およびビデオシステムまたはアプリケーションから参加する出席者が使用するビデオアドレス (SIP または H.323 URI) が変更されます。主催者アカウントを持つユーザーは、サイト管理者がパーソナル会議室 ID に変更を加えるとその変更を知らせる通知がメールを受け取ります。

既存のユーザー ID は変更されませんが、主催者メールアドレスの頭の箇所が使用される既定の形式が新しいものに変更されます。

### パーソナル会議室を自動的にロックする

主催者はミーティング開始後に指定分経過後にパーソナル会議室を自動的にロックするオプションを選択することができます。パーソナル会議室がロックされると、主催者はロビー管理機能を使って会議室への入室を許可する相手を指定できます。[ロック解除] を選択すれば会議室のロックを解除することができます。この機能を使用するには、モバイル端末のユーザーは iPad または iPhone (Android の場合は 8 以降) のために、Cisco WebEx Meetings アプリケーションをバージョン 7.5 以降にアップデートする必要があります。

### パーソナル会議室のメール通知

主催者はパーソナル会議室から離れている際に誰かがその会議室に入ると、メール通知を受け取ります。主催者はパーソナル会議室の基本設定で通知の設定を変更することができます。

### Collaboration Meeting Rooms (CMR) Cloud

- ビデオシステムのコールバック機能 (ベータ)CMR Cloud ユーザーはミーティングからビデオシステムへのコールバックを受信することですばやくミーティングに参加できます。この機能をうまく利用することで、ユーザーは Meeting Center アプリケーションからビデオアドレスを入力したり、または基本設定で好みのビデオアドレスを指定することができます。基本設定でビデオアドレスが指定されると、Meeting Center アプリケーションの音声およびビデオ接続ダイアログボックスでリストが表示されます。

このサービスは WebEx Hybrid Audio および Cloud Connected Audio をご利用のお客様のみが対象です。サイト管理者はミーティングアプリケーションで機能が利用できるようにそれらを有効にする必要があります。

- **Cisco Intelligent Proximity** で参加する (ベータ)。Cisco WebEx Meetings アプリバージョン 7.1 以降 (Android は 7.5 以降) を持っているユーザーは、サポートされている Cisco TelePresence システムからよりすばやくミーティングに参加することができます。Cisco Proximity アプリが Cisco WebEx Meetings アプリとして CMR Cloud と同一のスマートフォンまたはタブレットにインストールされている CMR Cloud ユーザーは、**Proximity** アイコンをタップしてすばやく CMR Cloud ミーティングに参加することができます。ビデオシステムをこの機能のためにビデオシステムを設定する手順については、TelePresence システムの管理ガイドの「Intelligent Proximity の設定」の項を参照してください。最小要件と注意事項の一覧は、次のナレッジベースにある記事を参照してください。 <http://kb.webex.com/WBX89076>

- **ビデオシステム用の数字のパスワード**。主催者がミーティングパスワードを要求するスケジュール済みミーティングでは、ビデオシステムユーザーにはビデオシステムから数字のミーティングパスワードの入力を求められます。この数字は毎回のミーティングでランダムに生成され、ユーザーがミーティングに入る前に承認する必要があります。
- **Microsoft Lync の相互運用性 (ベータ)**。このリリースでは Microsoft Lync アプリケーションを使用するユーザーは CMR Cloud ミーティングに参加することができます。

### CMR Hybrid の繰り返しミーティングの例外ミーティングに対応

CMR Hybrid はユーザーが作成したミーティングシリーズの例外ミーティングに対応しました。CMR Hybrid ミーティングシリーズの一回のミーティングで Microsoft Outlook のプロパティ (日付、時刻、招待者、件名など)、WebEx プロパティ、および TelePresence プロパティを変更できます。

- WebEx 生産性向上ツール使用での Microsoft Outlook からの CMR Hybrid シリーズをスケジュールリング時に例外ミーティングに対応します。
- 既存の例外ミーティングが含まれたミーティングシリーズの編集では Microsoft Outlook のルールが適用されます。
- 単独ミーティングには未対応です。例えば、Webex ミーティングと TelePresence 会議室を単一の繰り返しの Outlook のみの会議シリーズに追加することはできません。これらの機能を単一の繰り返しミーティングで利用できるようにするには、WebEx と TelePresence ミーティングをシリーズ全体に加える必要があります。

制限についての詳細は、[Meeting Center 用の Collaboration Meeting Rooms \(CMR\) の既知の問題と制限事項](#)を参照してください。

### CMR Cloud および CMR Hybrid の VoIP 広帯域音声のサポート改善

CMR Cloud および CMR Hybrid の VoIP 広帯域音声のサポートが改善されました。VoIP 広帯域音声は TelePresence システムと WebEx ミーティングアプリケーション間のエンドツーエンドに対応し、TelePresence と MR Cloud の WebEx および CMR Hybrid ミーティング間の音質が改善されました。

#### システム要件

このリリースには対応プラットフォーム、オペレーティングシステム、言語にアップデートが含まれています。詳細は[システム要件](#)を参照してください。

#### WebEx 生産性向上ツール

このリリースには WebEx 生産性向上ツールにアップデートが含まれています。詳細を確認するには、[WebEx 生産性向上ツールのリリースノート \(WBS30\)](#)

#### WebEx 音声

このリリースには WebEx 音声にアップデートが含まれています。詳細は、[WebEx 音声のリリースノート \(WBS30\)](#)を参照してください。

#### サイト管理

このリリースには WebEx サイト管理にアップデートが含まれています。詳細を確認するには、[WebEx サイト管理のリリースノート \(WBS30\)](#)

## Meeting Center の既知の問題および制限 (WBS30)

この項では、Meeting Center のみに影響する既知の問題について説明します。WebEx に対応するブラウザ、オペレーティングシステム、そして他の WebEx サービスに影響をおよぼす既知の問題は、[クロスプラットフォームの既知の問題と制限事項 \(WBS30\)](#)を参照してください。

### コラボレーション会議室 (CMR)

CMR Cloud、WebEx が有効な TelePresence (CMR Hybrid) ミーティングなどのコラボレーション会議室 (CMR) ミーティングの問題については、[Meeting Center 用の Collaboration Meeting Rooms \(CMR\) の既知の問題と制限事項](#)を参照してください。

### 既定のミーティングテンプレート

サイト管理で [最初に参加した出席者がプレゼンタに指定される] オプションが有効な場合、このオプションは WebEx サイトのミーティングスケジューラで既定で有効となります。Microsoft Outlook の WebEx 生産性向上ツールを使った WebEx ミーティングのスケジューリングで使用される既定のミーティングテンプレートでも有効となります。ユーザーによって作成されたカスタムミーティングテンプレートへの影響はありません。主催者がカスタムテンプレートを使ってミーティングをスケジュールし、さらに最初の出席者が自動的にプレゼンタになる場合、主催者はカスタムテンプレートで手動で設定を有効にする必要があります。

### ネットワーク録画

ネットワーク録画をスムーズに再生するには、最小要件である 2.0 Mbps の帯域幅が必要です。

### パーソナル会議室

**パーソナル会議室の自動ロック**—このオプションは主催者が WebEx アプリケーションを使ってパーソナル会議室に入室する場合のみ適用されます。主催者がビデオ端末またはアプリケーションからパーソナル会議室に入室する場合、この機能は適用されません。

**主催者に通知**—複数の出席者が 5 分以内に主催者に通知のボタンを選択した場合、WebEx はそのすべての出席者の名前を載せて一通のメールで通知します。メール通知には五名を超える出席者の名前は表示しません。この機能は携帯端末に対応していません。

**テレフォニーサービスプロバイダ (TSP) 音声**—サードパーティ電話会議プロバイダを使用する一部の WebEx サイトでは、TelePresence ユーザーは、その電話会議プロバイダのトール電話番号が設定されるまでは CMR Cloud 会議への参加、およびパーソナル会議室ミーティングの開始ができない場合があります。ミーティング中にこの問題を防ぐには、主催者はパーソナル会議室の設定の際に、基本設定で TSP 音声サービスのトール番号を指定しておくことをおすすめします。

**その他の電話会議**—他社の Teleconference を音声として使用する一部の WebEx サイトで他社の Teleconference オプションが選択されている場合に、パーソナル会議室は音声なしで開始されます。この問題を回避するために、サイト管理者はサイトの音声設定を変更するようにしてください。

ブラウザ—セキュリティコントロールにより、PCユーザーが一つのブラウザから二名の出席者として一つのパーソナル会議室に参加すると、パーソナル会議室は正式には一名の出席者としてのみ認識します。

**Linux システム、BlackBerry 10 端末、Windows 8 スマートフォン**—Linux システム、BlackBerry 10 端末、Windows Phone 8 端末からはパーソナル会議室でミーティングを開始したり開催することができません。

**パーソナル会議室のロビー**—次の端末またはシステムのユーザーは、パーソナル会議室がロックされている際に、ロビーで待機することができません:Linux システム、TelePresence 端末、Windows Phone 8 端末、BlackBerry 10 端末です。また、ミーティングの音声のみに参加するユーザーはパーソナル会議室のロック時にロビーで待機できません。これらのユーザーは会議室がロックされていることを示すメッセージを受け取ります。ロック解除されるまでは会議室に入ることができません。

パーソナル会議室およびコラボレーション会議室 (CMR) で影響を受けるその他の問題については、[Meeting Center 用の Collaboration Meeting Rooms \(CMR\) の既知の問題と制限事項](#)を参照してください。

## ミーティング体験

- 言語が韓国語になっている場合、ミーティングの議題の文字が正しく表示されない場合があります。
- 参加者が共有コンテンツをフルスクリーンで表示している間、Mac 環境では参加者パネルにビデオ設定ボタンが表示されません。
- キーボードナビゲーションとスクリーンリーダーの対応:
  - 参加者パネル中のビデオサムネイルのアイテムは Tab キーを使った選択の切り替えに対応しません。
  - 投票パネル中のファイル共有の一部アイテムは Tab キーを使った選択の切り替えに対応しません。
  - ビデオフルスクリーンビュー内のアイテムは Tab キーを使った選択の切り替えに対応しません。
  - ビデオユーザインタフェース内の要素はスクリーンリーダーに対応しません。
  - ビデオサムネイルのアイテムはスクリーンリーダーに対応しません。
  - 参加者パネリスト内の参加者リストはスクリーンリーダーに対応しません。
  - ファイル共有および投票パネル内の一部の要素はスクリーンリーダーに対応しません。
- パンツールは、ファイル共有機能により共有されているファイルの表示には、利用できません。
- Linux ユーザーは新しいインタフェースを利用できません。
- Mac 環境において、プレゼンタは、アプリケーション共有または画面共有 (以前のデスクトップ共有) の際にメモを取ったり、投票を作成する場合に、メモおよび投票は保存されません。

- Mac 環境で共有中に注釈を使う場合に、ユーザーがタブモードからフルスクリーンビューまで移動すると、最後に使用された注釈オプションは記録されません
- 一部の Windows マシン、Linux マシンにおいて、出席者のスクリーンセーバーが開始され、プレゼンタがファイル共有を開始すると、スクリーンセーバーが自動的に終了します
- 一部のカスタムクイックスタートのテンプレートが、Meeting Center の古いリリースを使って作成された場合、このリリースの更新後に機能しない場合があります。
- 一部の状況において、ミーティング中、とても大きなサイズのパワーポイントファイル共有のためにアップロードすると、そのプレゼンタのミーティングが切断されてしまう場合があります

### 誰でも共有可

- 「誰でも共有可」機能は Linux プラットフォームでは利用できません。Cisco WebEx Meetings モバイルアプリの旧版を使用するモバイルユーザーもまた利用できません。この機能は iPhone および iPad 版の Cisco WebEx Meetings アプリのバージョン 6.6 以降、BlackBerry 10 端末版の 3.6 以降、および Android 端末版の 6.5 以降に対応しています。旧版のアプリケーションを使用するモバイルユーザーはプレゼンタの役割を付与することで、プレゼンタに指名することができます。
- 主催者がデスクトップ上でミーティングを開始し、それから「誰でも共有可」機能をミーティング中に無効にしても、iPhone、iPad、BlackBerry 10 端末、Android 端末版の Cisco WebEx Meetings アプリを使用する参加者は引き続き共有を行うことができます。
- Cisco WebEx Meetings モバイルアプリのユーザーはミーティング中に「誰でも共有可」を無効にすることができません。しかしこの機能のサイト管理の設定は適用されます。

### ミーティングから退出のコマンド

電話サービスプロバイダの音声を使用されるサイトでは、ミーティングから退出のコマンドは無効になります。

### WebEx Center と WebEx 録画サービスにより生成されるリンク

セキュリティ強化のアップデートにともない、Cisco は、WebEx Meeting Center、Training Center、Support Center、Event Center、WebEx 録画サービスで使用される暗号化キー管理を改善するための変更を行います。この変更により、これらのサービスにより生成された既存のリンクは更新され、場合により新しいリンクのリクエスト申請が必要になるかもしれません。詳細と手順については、[暗号化キーのアップデートの WebEx FAQ](#) を参照ください。

### Windows 8 および 8.1

- Windows 8 または 8.1 環境のプレゼンタがアプリケーション共有または画面共有 (以前のデスクトップ共有) を共有する場合に、他の参加者に、共有コンテンツの前面にパネルが開いている領域分だけ網目状の様子が写されます。この問題はミーティングコントロールパネル、参加者パネル、チャットパネル、共有インジケータなどでも発生します。Windows 8 または

8.1 環境のプレゼンタはできるだけパネルを閉じて他の参加者のビューの妨げを防いでください。

- Windows 8 または 8.1 環境でリモートコンピュータに接続時、ローカルスクリーンは黒画面になりません。
- 32-bit 版 Microsoft Office 2010 の Word ドキュメントでのファイル共有は Windows 8.1 に対応していません。アプリケーション共有か画面共有を使用してください。

### Microsoft Office 2013 のサポート

- コンピュータに Microsoft Office 2013 がインストールされている場合、PowerPoint 2013 ファイルの共有時には次の機能はサポートされません:
  - アニメーションとトランジション
  - 埋め込まれたビデオおよびオーディオファイル
  - メモ専用パネルに表示される PowerPoint のメモ
  - UCF Toolkit
- 情報タブがカスタマイズされている場合、カスタム要素には対応しない可能性があります。WebEx ミーティングで適切に継続して表示されるかどうかを確認することをお勧めします。
- 一部の状況で次のエラーが発生します:
  - スライド上のテキストと色が実際のものとは微妙に異なる場合があります。
  - 一部のグラフィック要素がスライドから消えることがあります。
  - スライド上のフォントが多少ボケた感じになったり、実際のものとは微妙に異なる場合があります。
  - シェープのサイズが実際のものとは微妙に異なる場合があります。
- 編集モードで PowerPoint プレゼンテーション中のオブジェクトが適切に表示されない場合、スライドショー表示では自動的に削除されます。しかし WebEx ミーティングでそのようなファイルが共有された場合に、オブジェクトがそのまま表示される場合があります。
- パスワードで保護された PowerPoint 2013 ファイルはファイル共有機能を使って共有することができません。アプリケーション共有またはデスクトップ共有機能を使用してください。
- Windows 8 環境の Excel 2013 ファイルはファイル共有を使って共有することができません。アプリケーション共有または画面共有 (以前のデスクトップ共有) を使用してください。
- Windows 8 (64-bit) 環境の Word 2013 (64-bit) はファイル共有を使って共有することができません。アプリケーション共有または画面共有を使用してください。

### 内部参加者のタグ付け

次のようなケースでは内部参加者のタグは表示されません:

- 参加者が Cisco WebEx Connet アプリケーションから参加した
- 参加者がモバイル端末から参加した
- One Touch TelePresence Plus を使う参加者が SAML シングルサインオンを使っていない
- パーソナル会議のミーティングを使用

### ファイル共有

あなたが Windows を使う参加者で、システム上にユニバーサルプリンタドライバーがインストールされていない場合、共有中、Microsoft PowerPoint を除くすべての種類のファイルを共有できません。このような場合は、システムによりファイル共有からアプリケーション共有に切り替えるか、またはユニバーサルプリンタドライバーをインストールするためのオプションが提供されます。(Windows 7 システムではユニバーサルプリンタドライバーはプリインストールされています。)

ファイル共有は CMR Hybrid (WebEx が有効な TelePresence) ミーティングには対応していません。

### ストリーミングメディアの共有

出席者のビデオ解像度は 480p で最適化されます。高解像度のビデオファイルは (640 X 480) 解像度に調整されます。今のところ次のメディアファイル形式をサポートしています: WMV、WMA、WAV、MP3、ASF、AVI、MPG、MPEG、MOV、FLV、F4V、QT および MP4 です。

- MP4 および MOV ビデオファイルがインストール済みの QuickTime プレーヤーで再生できない場合は、WebEx ミーティングで共有することはできません。
- プレゼンタ側のビデオファイル共有の推奨システム要件
  - VGA ファイルでは Core2-Duo E6750 @ 2.66GHz 以上
  - AMD 9650 2.3GHz (4 core) 8GB を推奨
  - Intel® Core™ 2 Duo -E7400 2.8GHz 2.79GHz を推奨

ファイル共有は CMR Hybrid (WebEx が有効な TelePresence) ミーティングには対応していません。

WebEx のデスクトップバージョンから共有されているビデオファイルのストリーミングはモバイル端末で見ることができません。

### ミーティングへの参加が不可

Linux/Unix ユーザーは、ISA プロキシによる NTLM 認証が有効にすると、ミーティングに参加できない場合があります。

### Office 2007 ドキュメントの閲覧

Linux/Unix からミーティングに参加している出席者は、プレゼンタが Microsoft Office 2007 ドキュメントを共有している場合に、表示が正常でない場合があります。例えば、一部のアニメーションや画像が表示されなかったり、画面に歪みが起こります。

### Office 2010 ドキュメントの共有

PowerPoint 2010 で新たに導入された機能 (3D グラフィック、アニメーション、転換) はサポートされておらず、これらの機能を含むプレゼンテーションを共有すると、静的オブジェクトとして読み込まれる場合があります。

### Microsoft Outlook 2010 へのアドレス帳のインポート

Microsoft Outlook 2010 64-bit は会社アドレス帳の WebEx 連絡先へのインポートに対応していません。

### ミーティングの終了

Internet Explorer 7 では、ブラウザで複数のタブが開かれており、WebEx の [ミーティング進行中] ページが最前面のタブではない場合、ミーティングマネージャを閉じることができません。別のタブが WebEx ページの一番上にある場合は、[ミーティングを終了する] 確認ダイアログボックスが非表示になるためです。

### フルスクリーンビデオビュー

プレゼンタが、彼の画面共有 (以前のデスクトップ共有)、アプリケーション共有、ドキュメント共有の際に、フルスクリーンのビデオに切り替えると、もし出席者側でモニタが一つしかない場合に共有が一時停止されます (最後に共有された画面で停止します)。プレゼンタがフルスクリーンビデオ表示を終了すると、共有が自動的に再開されます。

プレゼンタが共有を停止しても、出席者側のフルスクリーンビデオビューは継続されます。プレゼンタが共有を再開すると、フルスクリーンビデオビューが自動的に終了されます。

プレゼンタが 2 つ以上のモニタを使用している場合、一方のモニタでコンテンツを表示しつつ、もう一方のモニタでフルスクリーンで表示することができます。

### バックアップサイト上で自動的に再開されるミーティング

サイトが利用できなくなり、WebEx グローバルサイトバックアップ (GSB) システムによりバックアップされている、あなたのバックアップサイトに自動リダイレクトされる際に、自動的に「共有」状態を回復することはできません。ミーティングウィンドウがバックアップサイト上のミーティングに再接続されると、「共有」状態が失われるため、プレゼンタはコンテンツ共有を再度開始する必要があります。

### モバイル端末版の Cisco WebEx Meetings アプリケーションを使用する

Cisco WebEx Meetings アプリケーションは Apple App Store、Windows Phone Store、BlackBerry World、Google Play、および Amazon Appstore for Android からダウンロードできます。詳細については、次のリンク先のモバイルリリースノートを参照してください。 <https://help.webex.com/community/webex-mobile/>

(リンク: <https://help.webex.com/community/webex-mobile/>)

脱獄済み、ルート済み、または通信会社およびハードウェアのシムロック解除が行われたモバイル端末には対応しません。

### PKI を使用したエンドツーエンドの暗号化

サイト管理者により提供される公開および秘密鍵を使用したミーティング内データのエンドツーエンド暗号化には対応されなくなりました。自動生成されるセッションキーのみによるライブミーティング内エンドツーエンド暗号化は引き続き利用できます。

## Meeting Center 用の Collaboration Meeting Rooms (CMR) の既知の問題と制限事項

### CMR の一般問題

この章では、CMR Cloud ミーティング、CMR Hybrid ミーティングなどの Collaboration Meeting Rooms (CMR) 限定の既知の問題および制限事項が記載されています。

- **WebEx アプリケーションからビデオ端末またはアプリケーションにビデオを送信する**

CMR Cloud または CMR Hybrid ミーティングは常に TelePresence (またはその他のビデオ会議システムおよびアプリケーション) と WebEx 間の最高の解像度で開始されます。高精細ビデオが利用可能な場合、すべての参加者が利用できます。WebEx 側の参加者の誰かの帯域幅が貧弱な場合、その参加者に合わせて TelePresence と WebEx 間の解像度が低くなります。従ってすべての参加者のビデオ解像度も低くなります。WebEx Cloud がビデオとアプリケーション共有または画面共有 (以前のデスクトップ共有) の両方を受け取り、処理するために必要な最低のビットレートは 1.2 Mbps です。これより低い場合、WebEx アプリケーションは共有アプリケーションまたは共有画面のみを表示します。

WBS29.11 以降、何かの理由によりローカル環境の WebEx アプリケーションに影響する低帯域幅または状態が悪い場合 (CPU または RAM の市場状況など)、WebEx アプリケーションは 1.2 Mbps ビットレートを保つことができません。ユーザーには「低帯域幅」の警告を示すメッセージが表示され、TelePresence ビデオは表示されません。WBS29.11 以降、WebEx アプリケーションのユーザーは自動的かつ定期的に WebEx Cloud に接続し、ネットワークとローカル環境の問題が解消していることを確認します。1.2 Mbps 以上のビットレート状態になり、ビデオの送受信ができるようになったら、ビデオの送受信を再開することができます。

CMR Cloud ミーティングで推奨される帯域幅の設定については、「[Cisco WebEx Meeting Center 設定ガイド](#)」ページの「Cisco WebEx Meeting Center with Collaboration Meeting Rooms Enterprise Deployment Guide」の前提条件を参照してください。

CMR Hybrid ミーティングで推奨される帯域幅の設定については、[Cisco TelePresence Management Suite \(TMS\) Configuration Guides](#) ページの「Cisco Collaboration Meeting Rooms (CMR) Hybrid Configuration Guide」の Cisco WebEx 機能と注意事項の章および、低帯域幅での Windows または Mac 版の WebEx Meeting Center クライアントの問題解消の章を参照してください。帯域幅の問題を解消する推奨されるサイト管理オプションの詳細については、[サイト管理のリリースノート](#)を参照してください。

- **プレゼンテーションおよびデータ共有の品質**

十分な帯域幅を確保できない場合、CMR Cloud and CMR Hybrid ミーティングのプレゼンテーションとデータ共有を XGA (1024 x 768 解像度) の 5 fps 形式に下げることが可能です。TelePresence システムではユーザーは「レターボックス」システムを表示できます。WBS29.8 では、WebEx 全参加者のインターネット環境が 2 Mbps である場合、最大 720 p 解像度に対応しており、さらにデータ共有では、4:3 および 16:9 の両方の TelePresence システムの TelePresence システム画面全体をカバーするため、画面の切り落としはありません。WBS29.11 から、WebEx 参加者の環境が 3 Mbps である場合に、TelePresence Server 4.1 環境では Conductor XC 3.0、1080 p 解像度に対応するようになりました。ミーティング中の参加者が最小帯域幅要件を満たしていない場合、参加者全員のデータ共有解像度レベルが下がります。例えば、720 p 解像度が使用されていたが、1 人の参加者の帯域幅がしきい値を下回った場合に参加者全員に対してミーティング解像度が 720 p に下げられます。または、もし TelePresence Server 4.1 および Conductor XC 3.0 が使用されている場合では通常 1080 p に対応します。しかし 1 人の参加者の環境が 3Mbps を満たさない場合、データ共有解像度が全参加者に対して 720 p に落とされます。TelePresence システムから TelePresence システムへのプレゼンテーションおよびデータ共有の画質は変更されることはありません。解像度は TelePresence Server または Cisco TelePresence MCU シリーズの設定により異なります。WebEx アプリケーションから WebEx アプリケーションへのプレゼンテーションおよびデータ共有の画質はとても高いものです。これらのプレゼンテーションおよびデータ共有の画質の制限は、専用データレンダリング形式が使用される WebEx のみのミーティングには適用されません。

#### • ミーティングのビデオ体験

WebEx ユーザーは、WebEx アプリケーションでアクティブスピーカーまたは最後に発言を行ったアクティブスピーカーのビデオ端末のみを見ることができます。発言を行わないビデオ端末のユーザーは WebEx アプリケーション内で表示されません。TelePresence ビデオは WebEx サムネイルには表示されません。

ビデオ端末ユーザーは、端末画面上でアクティブスピーカーまたは最後に発言を行ったアクティブスピーカーのビデオ端末のみを見ることができます。発言を行わない WebEx ユーザーは画面には表示されません。

TelePresence 会議室内がやかましいと、WebEx ミーティングでアクティブスピーカーとなる可能性があります。必要に応じて主催者は「ビデオ表示を固定」コマンドを使って他の参加者のビデオ表示を固定することができます。

CMR Cloud および CMR Hybrid ミーティングで、Apple iPad または iPhone のモバイル環境で参加しているユーザーのビデオは TelePresence システムには表示されません。しかし音声は生きたままとなります。参加者のビデオは WebEx アプリケーションで見ることができます。この問題は、ビデオを TelePresence システムに送信するには、180 p ビデオが必要ですが、モバイル回線での 180 p ビデオの送信は Apple iTunes デベロッパーガイドラインのアプリの要件で認められていないことに起因します。この問題はモバイル回線でのみ発生する問題で、参加者が WiFi 環境で iPad および iPhone を使っている場合は発生しません。さらに、iPad および iPhone ユーザーが TelePresence 参加者のビデオを表示する際に帯域幅が足りない場合には、接続品質、データ転送率、モバイル回線か Wifi かを判断した上で警告が表示されます。

#### • 標準機能

連携ミーティングでは、注釈、ホワイトボード、録画などの一部の標準機能には対応していません。

#### • フルスクリーンビデオビュー

プレゼンタが、彼の画面共有 (以前のデスクトップ共有)、アプリケーション共有、ドキュメント共有の際に、フルスクリーンのビデオに切り替えると、出席者側で共有が一時停止されます (最後に共有された画面で停止します)。プレゼンタがフルスクリーンビデオビューを終了すると、共有が自動的に再開されます。

プレゼンタが共有を停止しても、出席者側のフルスクリーンビデオビューは継続されます。プレゼンタが共有を再開すると、フルスクリーンビデオビューが自動的に終了されます。

Mac または PC の WebEx アプリケーションで 2 台のモニタを使用している場合、1 つのモニタでフルスクリーンビューを行い、ビデオをウィンドウをドラッグし、もう 1 つのモニタに移動し、「フルスクリーンビューですべての参加者を表示する」アイコンを選択して画面共有またはアプリケーション共有をフルスクリーンで表示します。

#### • ウェルカム画面

ウェルカム画面—既定では TelePresence 端末には WebEx のウェルカム画面は表示されません。また CMR Cloud および CMR Hybrid ミーティングの両方のサイト管理設定はオフにしておくことを推奨します。

#### • 電話回線サービスプロバイダ (TSP) 音声アカウント

一部の電話サービスプロバイダ (TSP) の音声アカウントで、TSP アカウントを持つ主催者が隣接した 2 つの CMR Hybrid または CMR Cloud ミーティングをスケジュールした場合、1 つ目が終了した後すぐに開始される 2 つ目が開始され、さらに TelePresence のスケジュールリングシステムが自動的に 1 つ目のミーティングの終了時間を延長した場合、2 つ目のミーティングは自動的に終了されます。これは、同じ TSP 音声アカウントを同時に 2 つのミーティングで使用することができないためです。

この問題に対処するには、主催者は 2 つの TSP 音声アカウントと主催者アクセスコードを使い、1 つ目のアカウントで最初のミーティング、2 つ目のアカウントで次に続くミーティングをスケジュールします。別の方法としては、管理者が TelePresence システムによるミーティングの自動延長を無効にすることです。

### CMR Cloud の問題

#### • ビデオコールバック

ビデオのコールバック機能は Mac および Windows ミーティングアプリケーションからのみ動作します。

コールバックは username@domain.com のような適切なドメイン名の形式を使用して SIP ベースのビデオ会議システムで受信することができます。

ユーザーがビデオコールバック機能の起動前にミーティングがロックされている場合であっても、ユーザーはミーティングからのコールを受信することができます。

ビデオコールバックはサードパーティのテレフォニーサービスプロバイダ (TSP) 音声の有効なサイトにはまだ対応していません。今後のリリースで対応する予定です。

ビデオコールバック機能は、ユーザーからのフィードバックを収集を目的としたベータ版としてリリースしています。ベータ版では一部の機能が適切に機能しない場合があります。

#### • 近接アクセス参加

Cisco WebEx Meetings モバイルアプリケーションが、近接アクセスアイコンをタップする前に、既存の音声通話(電話回線またはインターネット)から切断します。こうしないと、近接アクセスアプリがミーティング参加のためのビデオ会議システムを検出して指定することができません。

既定設定ではビデオ会議システムは近接アクセスアプリケーションを使ってリモートコントロールを行うことはできません。この機能を有効にするには、管理者がビデオ会議システムの近接アクセスモードおよびコールコントロールサービスを有効にする必要があります。

近接アクセス機能は、ユーザーからのフィードバックを収集を目的としたベータ版としてリリースしています。ベータ版では一部の機能が適切に機能しない場合があります。

#### • Linux システム、Blackberry 10 および Windows Phone 8 端末のサポート

CMR Cloud ミーティングは今のところ Linux システム、BlackBerry 10 および Windows Phone 8 の端末には対応していません。

#### • ファイル共有とホワイトボード共有

WebEx ユーザーが CMR Cloud ミーティングでファイル共有またはホワイトボード共有を行うと、ファイルまたはホワイトボードは、ビデオ会議システムまたはアプリケーションから参加しているユーザーには表示されません。主催者がデスクトップからこのような共有を行うと、主催者とビデオ会議システムまたはアプリケーションユーザーの両方にこの制限に関する警告が表示されます。主催者は、代わりにアプリケーション共有または画面共有(以前のデスクトップ共有)を使用してください。

#### • モバイルアプリケーションからパーソナル会議室ミーティングを開始する

サイト管理者が、WebEx サイトでミーティングパスワードが求められるよう指定しており、さらにCisco WebEx Meetings モバイルアプリを使って主催者がパーソナル会議室でミーティングを開始しようとする、ミーティングを開始できないという内容のエラーメッセージが表示されます。このような場合、主催者は次の方法で対処することができます:

- 1 WebEx サイトにログインします。
- 2 [マイ WebEx] を選択します。
- 3 [基本設定] を選択します。
- 4 [今すぐミーティングの設定] を選択します。
- 5 [インスタントミーティングはすべてパーソナル会議室で開催する] オプションのチェックを解除します。
- 6 [議題] に仮の議題を入力します。
- 7 [ミーティングパスワード] に仮のミーティングパスワードを入力します。
- 8 スクロールダウンして、[保存] を選択します。
- 9 左側ナビゲーションバーの [基本設定] リンクを再び選択します。
- 10 [今すぐミーティング] の設定を選択します。

11 [インスタントミーティングはすべてパーソナル会議室で開催する] オプションにチェックを入れると選択されます。

12 スクロールダウンして、[保存] を選択します。

#### • パーソナル会議室のロビー

最初のビデオ端末またはアプリケーションから参加したユーザーに対し、主催者が 30 分に渡りミーティングを開始しない場合、パーソナル会議室のロビーで待機している参加者が切断されます。切断された参加者はいつでも再びパーソナル会議室に加わることができます。

#### • パーソナル会議室からの退室と再入室

一部の状況で、主催者が専用会議室から退室することで CMR 会議を終了し、数秒内に再入室すると、無効な会議であることを伝えるプロンプト音声聞こえます。このような場合、主催者はいったん通話を切り、数秒ほど待ってからパーソナル会議室に再ダイヤルします。

#### • 12 時間の制限

スケジュール済みの CMR Cloud ミーティングは 12 時間以上続けることはできません。主催者と参加者はミーティングに再び参加することも、新たにスケジュールすることも可能です。

#### • 電話サービスプロバイダ (TSP) 音声

サードパーティ電話会議プロバイダを使用する一部の WebEx サイトでは、TelePresence ユーザーは、その電話会議プロバイダのトール電話番号が設定されるまでは CMR 会議に参加できない場合があります。ミーティング中にこの問題を防ぐには、主催者はパーソナル会議室の設定の際に TSP 音声サービスのトール番号を指定しておくことをおすすめします。

一部のダイヤルアウトで複数の手順が含まれ、ショートカット不可能な長い時間の音声プロンプトが含まれるため、パーソナル会議ミーティングの音声は TSP 音声ブリッジに統合されるのに多少の時間がかかる場合があります。この間、ビデオ端末またはアプリケーションから参加しているユーザーには、WebEx から参加しているユーザーには音声が届いていないことを知らせる通知はありません。この問題を回避するには、すべての参加者は、TSP 音声のダイヤルアウト手順が完了するまで待つしかありません。完了すると、参加者リスト内で電話の受話器アイコンが参加者のとりに表示されます。

#### • 間違った設定

ユーザーがスタンドアロンのビデオ端末またはアプリケーションを使用して、またあるいは通話コントロールやファイアウォールトラバーサルを介してミーティングに参加しようとしており、しかしながらシステムの設定が適切に済んでいない場合、ミーティングには参加できない場合があります。サイト設定については、「[設定ガイド](#)」の「Cisco WebEx Meeting Center Collaboration Meeting Rooms Enterprise」ページのを参照してください。ユーザーは、[ユーザーガイド](#)ページの「WebEx Meeting Center と Collaboration Meeting Rooms (CMR Cloud)」のガイドラインに従い、設定を行ってください。

#### • ネットワークの問題

ネットワーク機能またはパケットロスの理由により、ビデオ端末またはアプリケーションを使って CMR Cloud ミーティングに参加している参加者の表示名の一部がビデオ端末のアクティブプレゼンスビューで切れて表示される場合があります。

#### • 暗号化未対応の TelePresence 端末

CMR Cloud ミーティングの設定が済んでおり、出席者が暗号化未対応の TelePresence 端末から出席している場合、他の端末の接続が安全とはいえないため、そのような WebEx ミーティングは安全ではないとみなされます。

### Microsoft Lync interoperability と CMR Cloud

- Microsoft Lync と CMR Cloud の相互運用機能での最小要件と注意事項の一覧は、次のナレッジベースにある記事を参照してください。 <http://kb.webex.com/WBX86124>
- 近接アクセス機能は、ユーザーからのフィードバックの収集を目的としたベータ版としてリリースしています。ベータ版のため一部の機能が適切に機能しない場合があります。
- Microsoft Lync ユーザーはミーティングの主催者としてミーティングを開始することはできません。もし行う場合は、ビデオの送受信ができなくなります。
- ユーザーが Lync アプリケーションを使って通常の呼出しボタン (受話器) を押すさいに、そのユーザーはビデオの送受信を実行できません。このような場合ユーザーは、コールインユーザーとして音声のみのミーティングに参加します。
- Lync 参加者のビデオがミーティング中に表示できるようになるまで最大 6 秒ほどかかります。
- `meet@<sitename>.webex.com` にダイヤルしてミーティング番号を入力する Lync ユーザーは、ミーティング参加時にビデオの送受信ができません。
- Lync ユーザーが Lync 通話ボタンを使ってビデオ端末 (ビデオ端末またはアプリケーション) から開始する主催者のミーティングに参加すると、Lync ユーザーは 10 秒で切断されます。
- Lync ユーザーが主催者より先にミーティングに参加すると、ロビーからビデオを使うミーティング体験に移動することができません。
- Lync ユーザーは CMR Cloud ミーティングではコンテンツ共有を行うことができません。
- Mac 環境またはモバイルアプリケーションの Lync ユーザーはミーティングからのビデオを受信したり、またビデオをミーティングに送信することができません。
- Lync ユーザーがミーティングへの接続中に停止と再開を実行すると、予期しない問題が発生する可能性があります。例えば、再開後にメディアが再確立されない、Lync アプリケーション上にエラーメッセージが表示される、Lync のセルフビューがビデオを表示できない、などがあります。

### CMR Hybrid 連携の問題

CMR Hybrid の WebEx と TelePresence ソリューションのミーティング参加には次の問題点があります:

- 参加者リスト
  - WebEx と CMR Hybrid の連携ミーティングの WebEx 主催者は、WebEx と TelePresence 参加者の完全な一覧を見ることはできません。

- TelePresence 参加者は、CMR Hybrid ミーティングの WebEx 参加者リストで「TelePresence Systems」と表示されます。

- **WebEx 生産性向上ツールを使った繰り返しミーティングシリーズの例外的ミーティング**

CMR Hybrid ミーティングでの繰り返しミーティングの例外が WebEx 生産性向上ツールに対応しました。**単独ミーティングには未対応です。**例えば、Webex ミーティングと TelePresence 会議室を単一の繰り返しの Outlook のみの会議シリーズに追加することはできません。これらの機能を単一の繰り返しミーティングで利用できるようにするには、WebEx と TelePresence ミーティングのシリーズ全体に適用する必要があります。

バージョン 30 以前の場合、単一の例外ミーティングを含むミーティングシリーズを編集する場合、例外のプロパティには Microsoft Outlook のルールが適用されます。

主催者が CMR Hybrid ミーティングシリーズの一回の単体ミーティングを Microsoft Outlook カレンダーから議題を編集したりミーティング時刻を変更し、さらにシリーズ全体から WebEx を削除したとしても、WebEx ミーティング情報は例外ミーティングに表示されます。

主催者が繰り返しの CMR Hybrid ミーティングのシリーズをスケジュールし、最初の一回のミーティングを開始しないままに開始時刻を過ぎてしまうと、以降主催者はそのミーティングの日時を更新することができなくなります。しかし、主催者はミーティングシリーズ全体に対して日時を変更することは可能です。

もし CMR Hybrid ミーティングシリーズの一回のミーティングから WebEx ミーティングを削除する場合、それを TelePresence のみのミーティングに変更することになります。しかし Cisco TelePresence Management スイート (Cisco TMS) はその例外ミーティングの WebEx 情報を引き続き表示します。

ミーティングシリーズ中のすべての回の繰り返しミーティングを単独ミーティングに変更し、さらに TelePresence ミーティングをシリーズ全体に追加しようとする、Cisco TelePresence Management スイートと Microsoft Exchange (Cisco TMSXE) の連携は、シリーズが過去のものであるものと判断し、ミーティングスケジューラおよび主催者には適切な警告メッセージを表示しなくなります。この問題を回避するには、既存のシリーズをいったん削除し、TelePresence が追加されている新規のシリーズを作成し、そしてそのシリーズの例外ミーティングを個別に編集し、単体ミーティングを作成する、という方法があります。

Mac 版生産性向上ツールにはミーティングシリーズの例外ミーティングでこれに近い制限があります。

Mac 版 WebEx 生産性向上ツールで、CMR Hybrid (WebEx が有効な TelePresence) ミーティングシリーズの単体のミーティングで WebEx と TelePresence ミーティングをキャンセルすると、ミーティングシリーズ全体に対してキャンセルされます。

- **他の参加者をプレゼンタに指名する**

VGA ケーブルがラップトップに接続されると、TelePresence システムがプレゼンタになります。標準的な WebEx ミーティングでは、ユーザーが主催者にお願いしてプレゼンタになります。既定により、ミーティング内の誰もが「ボールを取得」またはプレゼンタになるためのリクエストが CMR Hybrid ユーザーで有効になっています。WBS29.11 以降、「誰でも共有可」機能により誰でもプレゼンタにならなくても共有を行うことができるようになりました。このオプションは CMR Hybrid ユーザーには既定で有効になります。一つのコンピュー

タで Cisco Jabber と WebEx の両方が接続されている場合、Jabber を使ってコンテンツを共有すると、複製された共有ウィンドウが表示されます。このため、Jabber と WebEx の両方がある場合は、常に WebEx から共有を行ってください。

- **タイムゾーン**

WebEx のタイムゾーンと Cisco TelePresence Management スイートのタイムゾーンは一致していないといけません。さもないと、ミーティングの時刻が同期されません。

- **ミーティングから退出する**

すべての TelePresence 端末ユーザーが WebEx が CMR Hybrid ミーティングから退出し、音声のみの発呼者が出席した場合、主催者の役割をわたす WebEx アプリケーションのユーザーがない場合(または音声のみの端末ユーザーが他の CMR Hybrid ミーティングの出席者である場合)、そして TS/MCU の機能制限により、TelePresence 側のミーティングによるスケジュール済み終了時刻の自動延長が許可されていない場合に、自動延長のオプションを持つ WebEx のみのミーティングとは異なり、ミーティングが終了します。

- **ファイル共有とホワイトボード共有**

ファイル共有とホワイトボード共有は CMR Hybrid ミーティングには対応していません。代わりに画面共有かアプリケーション共有を使用してください。

CMR Hybrid の既知の問題と制限の詳細については、[WebEx 生産性向上ツールのリリースノート \(WBS30\)](#)の「Windows 版の既知の問題と制限」および「Mac 版の既知の問題と制限」を参照してください。





## 第 2 章

# WebExの未解決および解決済みバグ(WBS30)

- [バグ検索ツールの使用](#), 21 ページ
- [WebEx Center の未解決バグ \(WBS30\)](#), 22 ページ
- [WebEx の解決済みバグ \(WBS30\)](#), 24 ページ

## バグ検索ツールの使用

既知の問題 (バグ) には重大度が指定されています。このリリースノートには次の詳細が記載されています:

- 顧客が発見した重大度が 1 - 3 の未解決バグ
- 顧客が発見した重大度が 1 - 5 の解決済みバグ
- シスコが発見した重大度が高い解決済みバグ

一覧中のバグについての詳細について確認できます。その他のバグについてはシスコバグ検索ツールを使って検索することができます。

### はじめる前に

バグ検索ツールにアクセスするには次のアイテムが必要です:

- インターネット接続
- ウェブブラウザ
- Cisco.com のユーザー名とパスワード

**ステップ 1** バグ検索ツールにアクセスするには、<https://tools.cisco.com/bugsearch/search>に移動してください。

**ステップ 2** Cisco.com ユーザー名とパスワードを使ってログインします。

**ステップ 3** [検索] フィールドにバグ ID 番号を入力し [送信] を押します。

ヒント <https://tools.cisco.com/bugsearch/bug/> バグ ID を入力することで特定のバグに移動することも可能です。<BUGID> where <BUGID> はあなたが検索しているバグの ID です (例えば CSCab12345)。

### 次の作業

バグの検索についての詳細は、保存済み検索結果の作成、バググループの作成、そしてバグ検索ツールページからヘルプを選択します。

## WebEx Center の未解決バグ (WBS30)

次のバグ一覧では最新のリリースでの予期せぬビヘイビアについて記載しています。バグ検索ツールを使って詳細を確認してください。

表 1: WebEx バージョン WBS30 の未解決バグ

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCUv23380	3	Event Center	Event Center:非公開録画レポートのデータサイズが大きい場合に書き出しでタイムアウトになる。
CSCUv12937	3	Event Center	Event Center:出席状況レポートのデータサイズが大きい場合に書き出しでタイムアウトになる。
CSCUv15177	3	Event Center	Event Center:イベントレポートのデータサイズが大きい場合に書き出しでタイムアウトになる。
CSCUv05285	3	Meeting Center	Meeting Center:プレゼンタが CMR 端末から共有を行うと、一部の参加者の画面共有がフリーズします。
CSCUv36738	3	マイ WebEx	ユーザー名:密結合サイトでのユーザー名の変更は制限されています。ユーザーが別のユーザー名に変更する機能が無効になりました。
CSCUv43860	3	生産性向上ツール	サポートされているメール形式:1.<displayName>姓、名</displayName><email>email@yourcompany.com</email>2.<displayName>名、姓</displayName><email>email@yourcompany.com</email>

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCuv48324	3	生産性向上ツール	生産性向上ツール:Windows 8.1 ユーザーは「パスワードを記憶する」が有効な場合でもユーザーにパスワードの入力が求められます。
CSCuv42317	3	生産性向上ツール	生産性向上ツール:EMC SourceOne 連携の PT 使用時に Outlook がフリーズする場合があります。
CSCuv50187	3	すべて	ミーティングのエラー報告 [63, 22] CCA 番号の追加時。
CSCuv35672	3	生産性向上ツール	Meeting Center:主催者がミーティングから切断されると、接続フル時間(ミーティング終了時間)が正しく記録されないことがある。
CSCuv12024	2	Meeting Center	Meeting Center:場合によりアプリケーション共有時に参加者に断続的に数秒のブラックスクリーンが表示される場合があります。
CSCuv47556	3	Meeting Center	Meeting Center:場合によりファイル共有で PowerPoint ファイルが共有されていて、かつスライドの自動進行が使用されている場合に、[開始/停止]ボタンのテキストが適切に更新されない場合があります。(ボタン自体は機能します。)
CSCuv68193	2	すべて	クロスプラットフォームの既知の問題:Firefox で VPN のプロキシサーバー経由でのアクセスを指定してる場合に WebEx ミーティングへの参加が失敗する場合があります。プロキシサーバーまたは VPN 接続設定を削除することで問題が解決されます。

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCuv64213	2	生産性向上ツール	生産性向上ツール:Mac版生産性向上ツールからスケジュールされた WebEx ミーティングシリーズをキャンセルすると、Windows 生産性向上ツールでスケジュールされたシリーズという内容の不正確なメッセージが表示され、結果として Outlook からこの WebEx シリーズを削除することができなくなります。

## WebEx の解決済みバグ (WBS30)

次の一覧では最新のリリースで解決済みのバグについて記載しています。バグ検索ツールを使って詳細を確認してください。

- [WebEx の解決済みバグ \(WBS30.1\)](#)
- [WebEx の解決済みバグ \(WBS30.0.5\)](#)
- [WebEx の解決済みバグ \(WBS30\)](#)

### WebEx の解決済みバグ (WBS30.1)

バグ番号	重大度	対象範囲	詳細
CSCuv20012	3	Meeting Center	サイト管理者がサイト管理で [出席者のメールアドレスを必須にする] をチェック解除している場合でも出席者にメールアドレスの入力が強制されるというサイト管理の問題が解決しました。
CSCuv24243	4	Meeting Center	アプリケーションのダウンロード機能問題が解決しました。
CSCuv23380	3	Event Center	非公開録画レポートのデータサイズが大きい場合に書き出しでタイムアウトになる。

バグ番号	重大度	対象範囲	詳細
CSCuv32868	3	サイト管理	複数の選択肢があるにも関わらず管理者がトラッキングコードを見ることができてしまうバグが解決しました。
CSCuv41502	3	Meeting Center	主催者がスケジュール権限を持っていないにも関わらず、パーソナル会議室のミーティングをスケジュールできてしまう Meeting Place 統合型サイトの問題が解決しました。
CSCuv15177	3	Event Center	イベントレポートのデータサイズが大きい場合に書き出しでタイムアウトになる。
CSCuv12937	3	Event Center	出席状況レポートのデータサイズが大きい場合に書き出しでタイムアウトになる。
CSCuv60311	3	生産性向上ツール	生産性向上ツールを使ってミーティングをスケジュールリングする時に主催者がウェルカムメッセージの編集ができてしまう問題が解決しました。
CSCuv10189	4	Meeting Center	ユーザーが Meeting Center の録画ページに MPEG-4 (MP4) の録画をアップロードする機能が解決しました。
CSCuv57751	3	Event Center	録画再生で議題がすべて表示されない問題が解決しました。

バグ番号	重大度	対象範囲	詳細
CSCuv66131	4	サイト管理	ユーザーリストのエクスポートのリンクがファイルのダウンロードではなくサイト管理のホームページになっていた問題が解決しました。
CSCuv83119	3	すべての Center	マイ WebEx レポートのクエリを行う主催者の権限が解決しました。
CSCuu76149	3	録画	WebEx 録画形式 (WRF) ファイルが Windows Media Video (WMV) ファイルに変換された際に、音声品質が低下する問題が解決しました。
CSCuv33064	3	生産性向上ツール	ユーザーが WebEx ミーティングが追加されていないミーティングをキャンセルし、中止されたミーティングの招待状にテキストを入力すると、受信者はミーティング招待状内でそのテキストを受け取ることがないという問題が解決しました。
US46382	3	CMR Cloud	サイトでアカウントアップグレードのメールを送信しないという事前設定がなされていても、CMR Cloud アカウントアップグレードのメールメッセージ (WebEx Account Upgrade_CM template) が送信される問題が解決しました。

## WebEx の解決済みバグ (WBS30.0.5)

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCuv28965	3	CMR Cloud	CMR Cloud: Cisco Collaboration Management コンソールから作成された WebEx アカウントユーザーの Telephony Service Provider (TSP) 音声アカウントが機能しない問題が解決しました。
CSCuv53113	3	CMR Cloud	CMR Cloud: 誰かがコンテンツ共有を行っている時に、Apple iPad または iPhone ユーザーがミーティングに参加またはミーティングから退出するとミーティング中の全参加者に対して黒画面が表示されるという問題が解決しました。
CSCuv62113	3	Meeting Center	Meeting Center: 新しいユーザインタフェースライブラリにアップグレードした後ミーティングアプリケーションがクラッシュする問題が解決しました。
CSCuv41291	3	Meeting Center	Meeting Center: TelePresence ミーティングでコンテンツ共有を行う際に一部の Mac ユーザーでミーティングがクラッシュするという問題が解決しました。

## WebEx の解決済みバグ (WBS30)

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCuv48703	3	CMR Cloud	CMR Cloud: サイト管理者による新規アカウントの作成時に WebEx ユーザー名をパーソナル会議室 ID として使用するための機能が解決しました。

## WebEx の解決済みバグ (WBS30)

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCuu28080	2	Meeting Center	Meeting Center: 一部のケースで Mac アプリケーションがクラッシュする問題が解決しました。
CSCut44690	2	モバイルアプリ	モバイル出席者は必須ではないパスワードを要求することで参加リンクからのミーティングへの参加が可能になりました
CSCus78267	2	Event Center	Event Center: 利用可能ディスクスペースが足りないログアーカイブ
CSCus79887	2	Meeting Center	Meeting Center: Mac 10.8/Mac 10.9 環境のユーザーが FireFox 35 からミーティングを開始および参加できない問題が解決しました
CSCut39522	2	生産性向上ツール	代理主催者リストに招待者が表示されない
CSCut41682	2	Meeting Center	Meeting Center: Mac 上での期限切れ証明書の問題が解決しました

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCut42195	2	Training Center	Training Center ハンズオンラボ:フルスクリーンモードで Ctrl+F キーがリモートコンピュータに送信されると同時にローカルマシーンにより妨害される
CSCus32910	2	Training Center	Training Center:サポート->ダウンロードのカスタマイズリンクが機能せず既定のロケーションに戻される
CSCus65150	2	Meeting Center	主催者は、過去の終了日時を含む古いミーティングテンプレートを使って繰り返しミーティングをスケジュールすることができる
CSCus76211	2	Meeting Center	パーソナル会議室のミーティングキーの重複問題
CSCuu60154	2	すべて	TSP 音声のみ:エクスポートに含まれる TSP 音声アカウントの国コードが正しくない形式になる。このデータは再インポートできるものの、ネットワーク録画の失敗が発生する。
CSCuu56770	2	生産性向上ツール	Mac 版 Outlook で WebEx 生産性向上ツールが見つからない
CSCuv08661	2	Training Center	Training Center ハンズオンラボ:アプリケーションクラッシュ

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCut81426	2	Meeting Center	パーソナル会議室のミーティングが開始できないノードが有効なサイトのための解決策
CSCut20624	2	すべて	プレゼンタが共有するビデオが出席者に表示されない問題が解決しました
CSCuu22966	2	すべて	TSP 音声のみ:場合によって音声パートナーが Macintosh の VoIP に対応していない場合でも Macintosh アプリケーションにより [コンピュータを使って通話] が提供される
CSCus53449	2	Meeting Center	出席者はパーソナル会議室の参加リンクを使ってパーソナル会議室のミーティングに参加できなかったが、参加できるようになった
CSCus53561	2	Meeting Center	CMR Cloud が有効になっていないサイトで、パーソナル会議室のミーティングの招待状にビデオ端末からの参加方法が記載されない
CSCus54897	2	モバイルアプリ	モバイル出席者は必須ではないパスワードを要求することで参加リンクからのミーティングへの参加が可能になりました
CSCus56686	2	Meeting Center	将来のミーティングのスケジューリング時にブラウザの処理とオーバーヘッドを軽減する

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCut24045	2	Meeting Center	Meeting Center:Mac 環境で既定の Airplay への接続が妨害される問題が解決しました
CSCut31393	2	Meeting Center	Meeting Center:サイト管理で [主催者より先に参加する] の設定が無効になっていてもミーティングで音声が無効になってしまう問題が解決しました
CSCuv11008	2	すべて	出席者が共通ファイル共有時に PDF の最初のページしか保存できない。
CSCur45859	2	Support Center	Remote Access:リモートマシンへの接続時にコピーペースト機能がしばしば機能しない
CSCut06959	2	生産性向上ツール	Mac 版生産性向上ツールは SSO 認証により SSO サインインを通ることができない
CSCut51432	2	すべて	ネットワーク録画プレーヤーを使った ARF から MP4 への変換を修正しました。
CSCut58942	2	生産性向上ツール	生産性向上ツールバージョン2.36 の原因により Outlook 2007/2010/2013 が一時的に停止してしまうことがある。
CSCuu45711	2	Meeting Center	Meeting Center:一部のプロキシ環境でミーティングアプリケーションが切断される問題が解決しました

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCuu45960	2	Meeting Center	Meeting Center:出席者がプレゼンタになった後にデスクトップ画面共有が使用できなくなる問題が解決しました。
CSCuu05264	2	すべて	録画の再生が黒画面を表示する問題が解決しました。
CSCuu41859	2	Meeting Center	Meeting Center:Mac OS X 10.10 環境で Meeting Center アプリケーションが間違ったメモリ使用を表示する問題が解決しました
CSCuu42903	3	Meeting Center	Meeting Center:Mac Mini の音声クラッシュする問題が解決しました
CSCuu07940	3	すべて	Jabber からの WebEx ミーティング参加でエラー47が発生する問題が解決しました
CSCuu08353	3	Meeting Center	Meeting Center:Mac および外部ヘッドセットを使った音声問題が解決しました
CSCuu10551	3	生産性向上ツール	Windows 8.1 環境でワンクリックの起動時にアプリケーションクラッシュが起こる
CSCuu36938	3	Meeting Center	議題に特殊文字が含まれる繰り返しミーティングの編集が WebEx サイトでミーティングを複製してしまう
CSCuc55053	3	Meeting Center	Meeting Center:投票を閉じる前にミーティングが終了すると投票データが失われる問題が解決しました

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCuu50473	3	Event Center	Event Center: プログラム URL から表示する場合にプログラムにアップロードされる画像が見つからない
CSCuu90443	3	生産性向上ツール	生産性向上ツールからミーティングがスケジュールされた場合、WebEx サイトでミーティングが毎月の最後の金曜日ではなく土曜日と表示される
CSCuu90589	3	Meeting Center	Meeting Center: 複数の Chrome ウィンドウが開かれている場合に Chrome 上でのミーティング開始または参加時に発生する問題が解決しました
CSCuu92084	3	生産性向上ツール	議題に特殊文字が含まれる繰り返しミーティングの編集が WebEx サイトでミーティングを複製してしまう
CSCuv33064	3	生産性向上ツール	生産性向上ツールがインストールされている場合に Outlook ミーティングのキャンセルメールが空になる
CSCuv37235	3	Meeting Center	Meeting Center: 音声ツールチップの表示問題が解決しました
CSCuv39714	3	すべて	TSP 音声のみ: ユーザーが参加者リストのマイクアイコンからミュートにした場合に、音声接続のダイアログボックスでマイクのアイコンがグレイアウトになる

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCut59029	3	Meeting Center	テンプレートでオプションが有効でかつそのテンプレートが今すぐミーティングのオプションで選択されている場合に、主催者は [今すぐミーティング] から開始されたインスタントミーティングの招待状を受信する
CSCut62455	3	Event Center	Event Center: モバイル端末から参加する出席者は [欠席] のウェビナーメールを受信する
CSCut64400	3	すべて	一部の状況で録画の音声は抜け落ちる問題が解決しました
CSCut97433	3	Meeting Center	Meeting Center: VoIP とコールバックユーザーの出席時のミュートの問題が解決しました
CSCut99336	3	サイト管理	メール招待状: 主催者が出席者を追加しても出席者がメール招待状を受信しない問題が解決しました
CSCuu03724	3	生産性向上ツール	タイムゾーンで夏時間オフセットがある場合に、Mac 生産性向上ツールからの TelePresence ミーティングのスケジュールリングが失敗する
CSCut52143	3	生産性向上ツール	CMR Hybrid: メール本文の主催者名代理のスケジュールリングで秘書名となる

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCut52369	3	Meeting Center	Meeting Center: ミーティングの参加時または開始時に一部のユーザーに [The WebEx application has encountered a problem and needs to close] と表示される問題が解決しました。
CSCut52503	3	生産性向上ツール	生産性向上ツールで Outlook 2013 ワンクリックの連絡先が表示されない
CSCut56913	3	サイト管理	サイト管理: ロシア語が設定されており、[Set Maximum video bandwidth to] で 30 fps が指定されている場合に帯域幅が 40 fps を使用する問題が解決しました。
CSCut56914	3	サイト管理	サイト管理: ロシア語で [Partner Links] の [Partner] の文言が正しくない
CSCut15081	3	Meeting Center	[今すぐミーティング] で開始されたインスタントミーティングは参加者がミーティングに参加すると自動的にプレゼンテーションおよびドキュメントを共有する
CSCut15094	3	すべて	MP4 ファイルが Mac OS X 10.10. で共有できない問題が解決しました

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCut15719	3	生産性向上ツール	生産性向上ツールのテンプレートで %MeetingNumberNS% が機能しない
CSCut17869	3	Support Center	Support Center: リモート PC へのファイル転送が失敗する
CSCut50624	3	すべて	WMV ビデオの共有コンテンツが一部で黒画面になる問題を解決しました。
CSCut51423	3	生産性向上ツール	WebEx 29.13.2 PT SSO ログインにより別のサイトの Safari のクッキーを消去する
CSCus81797	3	すべて	マイ WebEx の下の [すべてのミーティング] タブの読み込み時間が短縮された
CSCus84382	3	Training Center	Training Center: 出席者が受信する登録完了に空の Reg ID フィールドが含まれる
CSCus88215	3	Meeting Center	特殊文字を持つ名前のユーザーの □ 度目以降のミーティング参加では名前が適切に表示される
CSCus90200	3	Meeting Center	Meeting Center: High DPI 設定を使用した高精細画面の問題が解決しました
CSCus90729	3	Event Center	Event Center: すべてミュート/すべてミュート解除が正常に機能しない
CSCus94228	3	Event Center	Event Center: マイク検出関連の文言が正しくない

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCur83209	3	生産性向上ツール	WBS29.11 の Mac 版生産性向上ツールがダウンロードできない
CSCur90106	3	生産性向上ツール	CMR Hybrid で生産性向上ツールからブッキングされたミーティングで一貫性がない確認メールが届く
CSCus05456	3	すべて	WBS29.11 で [Broker for Vista] ポップアップが表示されミーティングに参加できない問題が解決しました
CSCus39739	3	生産性向上ツール	生産性向上ツール:TelePresence ビデオ端末競合検出の警告メッセージの詳細が不明
CSCus41605	3	Support Center	WebACD:Internet Explorer 使用時の URL リファラレポートが正しくない
CSCus42515	3	Meeting Center	Meeting Center:パネルのサイズ調整時にクライアントがクラッシュする問題を解決しました
CSCus49652	3	モバイルアプリ	主催者が iPad から出席している場合にミーティングを開始できない
CSCus80914	3	Meeting Center	Meeting Center:一部の Mac ユーザーに間違っているミーティングアクセスコードが表示される問題が解決しました
CSCuv55921	3	Training Center	Training Center:参加者リストに出席者が表示されない

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCuv60311	3	Meeting Center	Meeting Center:主催者がウェルカムメッセージを編集できない問題を解決しました
CSCzu47203	3	すべて	一部の環境でのネットワーク録画でプレゼンテーションが抜け落ちる問題が解決しました
CSCut66072	3	生産性向上ツール	Mac 版生産性向上ツールで Mac OS がネットワーク接続を確立を待たない
CSCut66152	3	生産性向上ツール	サイトが SSO サイトにアップグレードされた後もダイアログ中に標準 (非 SSO) サインインが表示される
CSCut66349	3	すべて	URL API m.php (AT=HM) の BU パラメータが機能しない問題を解決しました
CSCut68796	3	サイト管理	サイト管理:SSO 設定のアップデート時にエラーが発生する問題を解決しました
CSCut77914	3	Meeting Center	パーソナル会議室の高精細ビデオのアベイラビリティ問題が解決しました
CSCut78062	3	生産性向上ツール	生産性向上ツールが 500 ms 以内に読み込まない場合、Office 2013 のアドインが無効にされる
CSCut26557	3	生産性向上ツール	生産性向上ツールの [番号を入力して参加] オプションからの参加ができない

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCut26660	3	生産性向上ツール	Mac 版生産性向上ツールが自動アップデートが無効のサイト管理設定に従わない
CSCut30597	3	Event Center	Event Center: カスタムレポートの作成がタイムアウトになりデータなしとなる
CSCut20168	3	すべて	日本語版の Mac OS での録画ファイルの再生の問題が解決しました
CSCut20568	3	生産性向上ツール	TSP サイトユーザーが設定済み音声アカウントを持っていない場合に Windows 版生産性向上ツールが正しくないエラーメッセージを表示する
CSCus58369	3	サイト管理	WebEx サイト名の変更によりブランディングに問題が発生する
CSCus60820	3	Event Center	Event Center: Internet Explorer 使用時にメールテンプレートにアップロードされた画像が表示されない
CSCus62005	3	すべて	フランス語の登録ボタンの UI 文言エラーが解決しました
CSCus62442	3	すべて	録画の再生中の WbxU115.Dll の読み込みでエラーが発生する問題が解決しました
CSCus63752	3	Meeting Center	Meeting Center: 注釈ツールバーのスペルエラーが解決しました

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCut18250	3	Access Anywhere	Access Anywhere エージェント:アクセスコードの変更が失敗する
CSCut19686	3	生産性向上ツール	ユーザーが Support Center セッションタイプしかない場合に今すぐミーティングの編集ができない
CSCus56147	3	Training Center	Training Center:登録が一杯ですの記述が不明瞭
CSCus56651	3	Meeting Center	[すべてのインスタントミーティングでパーソナル会議室を使用する]のユーザーフラグが保存できない
CSCum36424	3	Meeting Center	Meeting Center: ミーティングアプリケーションの終了と再開のエラー原因が解決しました
CSCup49338	3	生産性向上ツール	利用できない TelePresence 会議室のブッキング時のエラーメッセージが正しくない
CSCus16445	3	Meeting Center	Meeting Center:不要なインスールプロンプトが表示される問題が解決しました
CSCus53789	3	Meeting Center	音声設定でのパーソナル会議室番号または PIN の更新後に既定のコールイン番号が表示されない
CSCus54254	3	Support Center	WebACD:Chrome およびIEブラウザで参加リンク / HTML コードが表示されない

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCus54583	3	生産性向上ツール	Lotus Notes 版生産性向上ツールが画像および URL に対応していない
CSCus54683	3	生産性向上ツール	Windows 版生産性向上ツールでユーザーがその他の電話会議セッションで行替えを入力しても一行で表示される
CSCus20801	3	Meeting Center	Meeting Center:一部で発生するミーティング参加時にミーティングパスワード要件の問題が解決しました
CSCus24497	3	すべて	ビデオカメラ共有が失敗する問題が解決しました
CSCus51309	3	Event Center	Event Center:フィールドが空白のまま送信するとアンケートが二度表示される
CSCuu54395	3	生産性向上ツール	生産性向上ツールアプリケーションでタイムゾーンが見つからない場合に例外ミーティングを編集できない
CSCuu56454	3	Meeting Center	Meeting Center: ウェブページでミーティング状態が正しくない問題が解決しました
CSCuu23031	3	すべて	TSP 音声のみ:コンピュータを使って接続]を使用して音声に接続し、さらにユーザーが[音声を切り替え] からコールバックを選択すると UI が停止する

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCUu23090	3	Event Center	Event Center:最大参加者数の編集で現行の登録人数より小さい数値を指定できてしまう
CSCUu12342	3	生産性向上ツール	ロシア語の翻訳エラー
CSCUu13756	3	Meeting Center	Meeting Center:Mac ユーザーが音声に接続した後にヘッドセットをつな下駄場合に発生する問題が解決しました
CSCUu15563	3	Meeting Center	Meeting Center: ウェブページでミーティング状態が正しくない問題が解決しました
CSCUu16191	3	生産性向上ツール	生産性向上ツールから代理によりミーティングがスケジュールされた場合に招待状が出席者に届かない
CSCUu17992	3	生産性向上ツール	生産性向上ツールからの TelePresence が追加されたミーティングのスケジュールリングで発生する問題が解決しました
CSCUv09220	3	Event Center	Event Center:ローカルの基本設定がイベント定義のタイムゾーンと一致する場合にタイムゾーンが重複される
CSCUu59507	3	生産性向上ツール	音声が生産性向上ツールアプリケーションを更新すると通常ユーザーにエラーが発生する

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCuu62060	3	生産性向上ツール	[出席者に国際コールイン番号を表示する] がカスタムミーティングテンプレートに従わない
CSCuu62466	3	Meeting Center	Meeting Center: ミーティング開始時のミーティングアプリケーションのクラッシュ問題が解決しました
CSCuu66979	3	Meeting Center	Meeting Center: 主催者のパーソナル会議室のプロファイル番号が正しくない問題が解決しました
CSCuu69177	3	生産性向上ツール	CMR Hybrid ミーティングのスケジューリング時に緑のチェックマークが 2m40s 遅延する
CSCuu69258	3	生産性向上ツール	生産性向上ツールのサイレントインストールで WBS29 サイトの URL が変更しない
CSCuv00114	3	生産性向上ツール	生産性向上ツールからのスケジューリング時にロケーションフィールドが MeetingPlace の詳細を自動的に生成する
CSCuv01319	3	Meeting Center	Meeting Center: Mac 環境でユーザーがデスクトップ共有からアプリケーション共有に切り替えることができない問題が解決しました

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCuv02252	3	生産性向上ツール	ログイン中に生産性向上ツールアプリケーションですばやくサイトを切り替えると Get-999 エラーが発生する
CSCuv02803	3	Meeting Center	パーソナル会議室ページからパスワードで保護されたファイルフォルダへのアクセスで発生する問題が解決しました
CSCuv04289	3	Training Center	Training Center:ブレイクアウトセッションルームが□名のプレゼンタを表示する
CSCuv04710	3	Meeting Center	Meeting Center:一部の電話番号が間違った国旗を表示してしまう問題を解決しました
CSCuv05150	3	Event Center	Event Center:[ミーティングが終了したらマイミーティングから自動的に削除]の無効化に失敗する
CSCuv06478	3	サイト管理	サイト管理:ユーザーインポート後に TSP アカウントが機能しない問題を解決しました
CSCus76213	3	生産性向上ツール	生産性向上ツールアプリケーションが PAC プロキシにログインできない
CSCus76998	3	サイト管理	サイト管理:一人のユーザーが複数のリモートコンピュータに割り当てられている場合にユーザーエクスポート問題が発生する

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCus65464	3	Meeting Center	Internet Explorer がパーソナル会議室の参加ページを適切に読み込まない
CSCus66962	3	Meeting Center	Meeting Center:TelePresence の発言者の表示問題を解決しました
CSCus67309	3	Meeting Center	Meeting Center: Windows Vista からのミーティングの参加および開始でエラー 104 が表示される
CSCus73944	3	Meeting Center	二つ以上のブランド名があるサイトからの招待状メール中のパーソナル会議室 URL の問題が解決しました
CSCus74677	3	生産性向上ツール	CMR Hybrid ミーティングのスケジューリング中にTMSサーバーにアクセスできない場合のメッセージが正しくない
CSCus76050	3	生産性向上ツール	単一の繰り返しミーティングのキャンセルにより残りのシリーズミーティングが開始できない
CSCus33462	3	生産性向上ツール	パスワード暗号化によりワンクリックミーティングが開始できない
CSCus35853	3	Support Center	WebACD:JMF の再試行のタイムアウトが長すぎる

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCus64329	3	Meeting Center	サイトの同時セッション数の上限が 1 で 1 つの Meeting Center が起動している場合でもパーソナル会議室のミーティングが開始できてしまう問題が解決しました
CSCus28073	3	Event Center	Event Center: リマインダおよびフォローアップメールセクションの年単位の値が変更できない
CSCus29738	3	Meeting Center	パーソナル会議室 URL の @ マークのためにパーソナル会議室にアクセスできない問題が解決しました
CSCus30195	3	Training Center	Training Center: 過去のトレーニングのカスタムランニングページに失敗する
CSCus32100	3	すべて	Windows 8 環境で 150 DPI に設定してある二台目のモニタを共有すると失敗する問題を解決しました
CSCut42457	3	すべて	Macintosh ミーティングアプリケーション: 国際コールイン番号リストの検索で正しくない番号が表示される。ユーザーは正しい番号までスクロールする必要がある
CSCus79914	3	すべて	Windows 8 環境で 150 DPI に設定してある二台目のモニタを共有すると失敗する問題を解決しました

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCut38101	3	Meeting Center	Meeting Center:Internet Explorer9でミーティングのスケジュールリング後に主催者にミーティングの開始時刻が正しく表示されない問題が解決しました
CSCut38794	3	生産性向上ツール	ワンクリックミーティングが開始できない
CSCut87663	3	生産性向上ツール	Mac 版生産性向上ツールが TMS ブッキングサービスの URL を適切に検出しない
CSCut90564	3	Event Center	Event Center:サイト管理で Flash クライアントが無効にされている場合に Android 端末を使用する出席者が共有ファイルを表示できない
CSCut90965	3	Meeting Center	Meeting Center:サイト管理で緑のメッセージが有効な場合での表示の問題が解決しました
CSCut92269	3	すべて	一部の状況で Jabber からのミーティング参加が失敗する問題が解決しました
CSCut96437	3	生産性向上ツール	Sametime 連携でパーソナル会議室インスタントミーティングが開始できない
CSCuv23204	3	すべて	SetMeeting: firstAttendeeAsHost フラグが無視され、false(場合により createMeeting 中に選択済みオプションが上書きされる) 扱いになる

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCuv14899	3	生産性向上ツール	WBS28 および WBS29 の生産性向上ツールの互換性の問題
CSCut46703	3	すべて	TSP 音声のみ:コンピュータにスピーカー端末がない場合に [コンピュータを使って通話] を試行すると音声ダイアログボックスが [接続中] 状態で止まってしまう。
CSCut84191	3	Support Center	Support Center:[今すぐミーティング] 設定が Support Center で設定されてしまう問題が解決しました
CSCut85741	3	Event Center	Event Center:AttendeeHistoryReport が失敗し結果を表示しない
CSCuu28252	3	Meeting Center	Meeting Center:TelePresence ユーザーが退出し、再参加した場合に Mac 版ミーティングアプリケーションがクラッシュする原因が解決しました
CSCuu29842	3	Event Center	Event Center:SourceID データがレポート中に表示されない
CSCuu81988	3	すべて	録画のバッファが止まらなくなり、再生できない問題が解決しました
CSCuv12822	3	生産性向上ツール	会議室が利用できない場合に Lotus Notes でユーザーが会議室、日付、時刻を変更できない

バグ ID	重大度	対象範囲	詳細
CSCuv14051	3	Meeting Center	Meeting Center:Mac アプリケーションでの Flicker の画面共有の問題が解決しました
CSCuu76042	3	サイト管理	サイト管理:ユーザーのインポート時に [ユーザーが次回ログインする際にパスワード変更を要請する] オプションが無効になる問題が解決しました
CSCuu30255	3	生産性向上ツール	ユーザーが Windows 版の生産性向上ツールとその他のアドインを使用している場合に、メール中に重複するメール情報が表示される





## 第 3 章

# WebEx システム最小要件と機能対応のリリースノート (WBS30)

このドキュメントでは、機能、既知の問題、および各 OS とウェブブラウザ環境での WebEx サービスの使用制限について記載しています。



(注)

WebEx は次の要件を満たすすべての Linux ディストリビューションをサポートしています:

- カーネル:2.6 以降
- X Lib:X11R6 以降の互換性があるもの
- C++ Lib: libstdc++ 6
- デスクトップ環境:XFce 4.0 以降、KDE、Ximian、Gnome
- GDK/GTK+ version:2.0 以降
- Glib:2.0 以降
- Java 1.6

- [多言語サポート \(WBS30\), 52 ページ](#)
- [オペレーティングシステムとブラウザのサポート \(WBS30\), 53 ページ](#)
- [Windows XP、Windows Server 2003、Mac OS X 10.6、および Internet Explorer 6 のサポート終了のお知らせ \(WBS30\), 54 ページ](#)
- [Citrix XenDesktop および XenApp のサポート \(WBS30\), 55 ページ](#)
- [クロスプラットフォーム機能 \(WBS30\), 55 ページ](#)
- [クロスプラットフォームの既知の問題と制限事項 \(WBS30\), 66 ページ](#)

## 多言語サポート (WBS30)

言語	Meeting Center <sup>1</sup>	Event Center	Training Center	Support Center
中国語 (簡体語)	○	○	○	○
中国語 (繁体語)	○	○	○	○
デンマーク語	○	○	○	○
オランダ語	○	○	○	○
英語	○	○	○	○
フランス語	○	○	○	○
ドイツ語	○	○	○	○
イタリア語	○	○	○	○
日本語	○	○	○	○
韓国語	○	×	○	○
ポルトガル語 (ブラジル)	○	○	○	○
ロシア語	○	○	○	○
スペイン語 (欧州)	○	○	○	○
スペイン語 (南米)	○	○	○	○
スウェーデン語	○	×	×	×
トルコ語	○	○	○	○

<sup>1</sup> Mac 版で多言語対応しているのは Meeting Center だけです。Event Center、Training Center、および Support Center は多言語に対応していません。

## オペレーティングシステムとブラウザのサポート (WBS30)

	Windows	Mac OS X <sup>2</sup>	Linux <sup>3</sup>
OS	Windows Vista 32-bit/64-bit、Windows 7 32-bit/64-bit、 Windows 8 32-bit/64-bit、Windows 8.1 32-bit/64-bit、 Windows Server 2008 64-bit、Windows Server 2008 R2 64-bit、 Windows 10 <sup>4</sup>	10.7、10.8、10.9、10.10	Ubuntu 12.x および 14.x (Gnome)、Red Hat 5、 6、Open SuSE 13.1、 13.2、Fedora 19、20(す べての 32-bit)
利用可能な WebEx サービス	すべてのサービス	Meeting Center、 Training Center、Event Center、Support Center	Meeting Center Event Center Training Center Remote Support
<b>システムの最小要件</b>			
プロセッサ	Intel Core2 Duo CPU 2.XX GHz または AMD プロセッサ (メモリ 2 GB 推奨)	Intel プロセッサ (メモ リ 512 MB 以上を推奨)	Intel または AMD x8
JavaScript	JavaScript (クッキーが 有効)	JavaScript (クッキーが 有効)	JavaScript (クッキーが 有効)
その他	Active X が有効 (IE で ブロック解除されてい ることを推奨) Sun Java 6 以降		Java 6、libstdc++ 6.0、 GNOME/KDE window システム
<b>ブラウザ</b>			
Internet Explorer	7、8 (32-bit/64-bit)、9 (32-bit/64-bit)、10 (32-bit/64-bit)、11 (32-bit/64-bit)		
Mozilla			
Firefox <sup>5</sup>	最新版	最新版	最新版

	Windows	Mac OS X <sup>2</sup>	Linux <sup>3</sup>
Safari		5、6、7、8	
Chrome <sup>5</sup>	最新版 32-bit/64-bit	最新版 32-bit/64-bit	

## <sup>2</sup> Mac からミーティングに参加

- **Mac OS X 10.7** 以降 Apple は Mac オペレーティングシステムでの Java の提供を停止しました。これまで WebEx は、Java がインストールされておらずミーティングへの参加で問題を抱えている、初めてのユーザー用のミーティングアプリケーションの自動ダウンロードを Java ブラウザプラグインに依存していました。Java への依存を排除しました。代わりに、ユーザーには小さなプラグインのインストールが求められます。これにより、ミーティングアプリケーションの残りのインストールが自動処理され、ミーティングが開始できます。
- **Safari 6.X** および **Safari 7** 上ではじめて **Event Center** を使ってイベントを開始または参加する際にエラーが発生します。WebEx のインストール後、イベントに参加または開始するサイトからのプラグインを信用しよう **Safari** が要求します。その後でページが更新されますが、まだイベントには参加できません。参加するには、選択した元のリンクを戻ることによって参加できます。

## <sup>3</sup> Linux パーソナル会議室には対応していません。

<sup>4</sup> WebEx は WBS30.1 以降、Microsoft Windows 10 の制限付きサポートの提供を開始しました。詳細については、クロスプラットフォームの既知の問題と制限 (WebEx システム要件と機能サポートのリリースノート) の項を参照してください。

## <sup>5</sup> Chrome および Firefox で WebEx を使用する

- Chrome は NPAPI サポートを終了するため、Chrome 38 以降の WebEx の開始では、Chrome 拡張機能を使った新しい参加方法が提供されました。Chrome ではじめて WebEx を使う際に、ユーザーは一回限りの操作による拡張機能の追加と WebEx アプリケーションの更新のための手順が示されます。2 回目からはこの操作がなくても参加できます。
- Firefox 64-bit 版には対応していません。

# Windows XP、Windows Server 2003、Mac OS X 10.6、および Internet Explorer 6 のサポート終了のお知らせ (WBS30)

WBS30 以降、WebEx は Windows Server 2003 および Mac OS X 10.6 のサポートを終了します。Windows Server 2003 および Mac OS X 10.6 でのサービスのテストは行われないため、WebEx がこれらのプラットフォームで正常動作を保証することはありません。ご存知の通り、Microsoft は 2015 年 7 月 14 日以降、Windows Server 2003 のサポートを終了し、また Apple は Mac OS X 10.6 のアップデートとセキュリティパッチの提供を終了しました。

また WebEx の Windows XP のサポートは 2015 年 1 月で終了しています。

WBS30 以降これらのオペレーティングシステムへの対応は終了するため、ユーザーは WebEx Meetings、Remote Access セッション、Access Anywhere セッションの開始と参加ができなくなりま

す。また、Windows Server 2003、Windows XP、および Mac OS X 10.6 環境のユーザーは WebEx アプリケーションが利用できなくなります。

支障なく WebEx を使用するために、ユーザーは対応しているオペレーティングシステムにコンピュータをアップグレードしてください。ユーザーは対応しているモバイル端末からも WebEx を使用できます。

最新のウェブ標準に準拠させるため、WebEx は WBS29.8 リリースの時点で Internet Explorer 6 のサポートを終了しています。最新版の Internet Explorer かまたは別のブラウザを使用してください。

## Citrix XenDesktop および XenApp のサポート (WBS30)

ホストオペレーティングシステムと仮想オペレーティングシステムの両方が Windows (Windows XP または Windows 8) の場合に、Citrix XenDesktop 5.5、5.6、5.0、5.5 および 7.60 および XenApp 6.5 に対応します。ホストオペレーティングシステムとはユーザーのローカルコンピュータ上にインストールされているオペレーティングシステムのことです。仮想オペレーティングシステムはサーバーにより提供されるオペレーティングシステムです。

詳細については [クロスプラットフォームの既知の問題と制限事項 \(WBS30\)](#) を参照してください。

## クロスプラットフォーム機能 (WBS30)

WebEx サービスごとの機能対応:

### Meeting Center

	Windows	Mac OS X	Linux
ミーティングの開催	○	○	○
ミーティングへの出席	○	○	○
主催者に先行した電話会議への参加	○	○	○
出席者の準備インジケータ	○	○	○
クイックスタートタブ (参加者のための招待と催促)	○	○	×
ミーティング議事録の送信	○	×	×

	Windows	Mac OS X	Linux
Power Panels (出席者にフルスクリーン表示を提供しながら、主催者は背面のコントロール機能を駆使してミーティングを進行します)	○	○	×
アプリケーションの共有と注釈	○	○	○
ウェブコンテンツブラウザの共有と注釈	○	○	○
デスクトップの共有と注釈	○	○	○
ドキュメントとホワイトボードの共有と注釈	○	○	○
ウェブコンテンツの共有	○	○	○
デスクトップのリモートコントロール	○	○	○
アプリケーションのリモートコントロール	○	○	○
ウェブブラウザのリモートコントロール	○	○	○
デスクトップのリモートコントロール	○	○	○
Microsoft PowerPoint アニメーションおよびトランジション	○	表示のみ	表示のみ
プレゼンテーションの自動再生	○	○	○
プレゼンテーションの自動進行	○	○	○

	Windows	Mac OS X	Linux
チャット	○	○	○
高品質ビデオ	○	○	表示のみ
高精細ビデオ	○	○	×
高精細ビデオ対応のフルスクリーンビデオ	○	○	×
アクティブスピーカー切り替えビデオ	○	○	○
GPU へのビデオ処理のオフロード	○	○	×
ビデオ送信時のセルフビュー	○	○	×
WebEx 音声	○	○	○
Cisco Unified MeetingPlace バージョン 8.x 音声	○	○	○
サードパーティの音声 (TSP)	○	○	×
パーソナル会議	○	○	○
統合型インターネット電話 (VoIP)	○	○	○
クライアント側での録画 (WRF)	○	×	×
ネットワーク録画 (ARF)	○	○	○
スタンドアロンの再生 (WRF/ARF)	○	○	×
ブラウザでの再生 (WRF/ARF)	○	○	○
録画の編集 (WRF)	○	×	×

	Windows	Mac OS X	Linux
投票	○	○	○
印刷	○	×	×
ファイル転送 (基本的な転送:別ウィンドウ中で転送したいファイルを選択、アップロードし、出席者がそのファイルをダウンロードします。高度な転送:他の人のコンピュータ上にあるファイルまたはフォルダを転送します。)	基本転送および高度転送	基本のみ	基本のみ
メモおよびクローズドキャプション	○	○	○
カスタマイズされた情報タブ	○	×	×
32-bit および 64-bit 版 Microsoft Outlook 連携	○	×	×

### Event Center

	Windows	Mac OS X	Linux
イベントの開催	○	○	○
イベントへの出席	○	○	○
主催者に先行した電話会議への参加	○	○	○
クイックスタートタブ (参加者のための招待と催促)	○	○	×
出席者の準備インジケータ	×	○	×

	Windows	Mac OS X	Linux
Power Panels (出席者にフルスクリーン表示を提供しながら、主催者は背面のコントロール機能を駆使してミーティングを進行します)	○	○	×
パネリスト	○	○	○
Q&A	○	○	○
アプリケーションの共有と注釈	○	○	○
ウェブコンテンツブラウザの共有と注釈	○	○	○
デスクトップの共有と注釈	○	○	○
ドキュメントとホワイトボードの共有と注釈	○	○	○
ウェブコンテンツの共有	○	○	○
Microsoft PowerPoint アニメーションおよびトランジション	○	表示のみ	表示のみ
プレゼンテーションの自動再生	○	○	○
プレゼンテーションの自動進行	○	○	○
チャット	○	○	○
高品質ビデオ	○	○	表示のみ
高精細ビデオ	×	×	×
高精細ビデオ対応のフルスクリーンビデオ	○	○	○

	Windows	Mac OS X	Linux
アクティブスピーカー 切り替えビデオ	○	○	○
GPUへのビデオ処理の オフロード	×	×	×
ビデオ送信時のセルフ ビュー	○	○	×
WebEx 音声	○	○	○
音声ブロードキャスト	○	○	○
Cisco Unified MeetingPlace バージョ ン 8.x 音声	○	×	×
サードパーティの音声 (TSP)	○	×	×
統合型インターネット 電話 (VoIP)	○	○	○
クライアント側での録 画 (WRF)	○	×	×
ネットワーク録画 (ARF)	○	○	○
スタンドアロンの再生 (WRF/ARF)	○	○	×
ブラウザでの再生 (WRF/ARF)	○	○	○
録画の編集 (WRF)	○	×	×
投票	○	○	○
印刷	○	×	×

	Windows	Mac OS X	Linux
ファイル転送 (基本的な転送:別ウィンドウ中で転送したいファイルを選択、アップロードし、出席者がそのファイルをダウンロードします。高度な転送:他の人のコンピュータ上にあるファイルまたはフォルダを転送します。)	基本転送および高度転送	基本のみ	基本のみ
カスタマイズされた情報タブ	○	×	×
32-bit および 64-bit 版 Microsoft Outlook 連携	○	×	×

### Support Center

	Windows	Mac OS X	Linux
サポートセッションの開催	○	○	○
サポートセッションへの出席	○	○	○
セッションの録画	○	×	×
リモートコンピュータへのアクセス	○	○	○
デスクトップの共有と注釈	○	○	○
ファイル共有と注釈	○	×	×
ウェブコンテンツの共有 (顧客サービス担当者)	○	×	×
ウェブコンテンツの表示 (顧客)	○	○	×

	Windows	Mac OS X	Linux
リモート印刷	○	×	×
チャット	○	○	○
リモートコンピュータの再起動と再接続 (セーフモード)	○	×	×
ユーザーのシステム情報の表示	○	制限あり	制限あり
別のユーザーとしてログオン	○	×	×
高品質ビデオ	○	×	×
高精細ビデオ	×	×	×
高精細ビデオ対応のフルスクリーンビデオ	対応するがサムネイルなし	×	×
アクティブスピーカー切り替えビデオ	×	×	×
GPUへのビデオ処理のオフロード	×	×	×
ビデオ送信時のセルフビュー	×	×	×
WebEx 音声	○	○	○
Cisco Unified MeetingPlace バージョン 8.x 音声	×	×	×
サードパーティの音声 (TSP)	×	×	×
クライアント側での録画 (WRF)	○	×	×
ネットワーク録画 (ARF)	○	○	○

	Windows	Mac OS X	Linux
スタンドアロンの再生 (WRF/ARF)	○	○	×
ブラウザでの再生 (WRF/ARF)	○	○	○
録画の編集 (WRF)	○	×	×
統合型インターネット電話 (VoIP)	○	○	○
ファイル転送 (基本的な転送:別ウィンドウ中で転送したいファイルを選択、アップロードし、出席者がそのファイルをダウンロードします。高度な転送:他の人のコンピュータ上にあるファイルまたはフォルダを転送します。)	基本転送および高度転送	基本のみ	基本のみ

### Training Center

	Windows	Mac OS X	Linux
トレーニングセッションの開催	○	○	○
トレーニングセッションへの出席	○	○	○
主催者に先行した電話会議への参加	○	○	○
出席者の準備インジケータ	○	○	○
ブレイクアウトセッション	○	○	○
ハンズオンラボのセッション	○	○	×

	Windows	Mac OS X	Linux
Q&A	○	○	○
クイックスタートタブ (参加者のための招待と 催促)	○	○	×
Power Panels (出席者に フルスクリーン表示を 提供しながら、主催者 は背面のコントロール 機能を駆使してミー ティングを進行します)	○	○	×
アプリケーションの共 有と注釈	○	○	○
ウェブコンテンツブラ ウザの共有と注釈	○	○	○
デスクトップの共有と 注釈	○	○	○
ドキュメントとホワイ トボードの共有と注釈	○	○	○
デスクトップ共有	○	○	○
アプリケーションのリ モートコントロール	○	○	○
ドキュメントとホワイ トボードの共有と注釈	○	○	○
Microsoft PowerPoint ア ニメーションおよびト ランジション	○	表示のみ	表示のみ
プレゼンテーションの 自動再生	×	×	×
チャット	○	○	○
高品質ビデオ	○	○	表示のみ
高精細ビデオ	○	○	×

	Windows	Mac OS X	Linux
高精細ビデオ対応のフルスクリーンビデオ	○	○	×
アクティブスピーカー切り替えビデオ	○	○	○
GPU へのビデオ処理のオフロード	×	×	×
ビデオ送信時のセルフビュー	○	○	×
WebEx 音声	○	○	○
Cisco Unified MeetingPlace バージョン 8.x 音声	○	×	×
サードパーティの音声 (TSP)	○	×	×
統合型インターネット電話 (VoIP)	○	○	○
クライアント側での録画 (WRF)	○	×	×
ネットワーク録画 (ARF)	○	○	○
スタンドアロンの再生 (WRF/ARF)	○	○	×
ブラウザでの再生 (WRF/ARF)	○	○	○
録画の編集 (WRF)	○	×	×
投票	○	○	○
オフラインの投票エディタ	○	×	×
別名保存タブ (ファイル共有および投票)	○	○	×

	Windows	Mac OS X	Linux
印刷	○	×	×
ファイル転送 (基本的な転送:別ウィンドウ中で転送したいファイルを選択、アップロードし、出席者がそのファイルをダウンロードします。高度な転送:他の人のコンピュータ上にあるファイルまたはフォルダを転送します。)	基本のみ	基本のみ	基本のみ
マルチメディアファイル	○	○ (QuickTime)	×
フローティングアイコントレイ	○	○	×
32-bit および 64-bit 版 Microsoft Outlook 連携	○	×	×

## クロスプラットフォームの既知の問題と制限事項(WBS30)

この項では WebEx が対応するブラウザと OS の既知の問題と制限について説明します。その他の既知の問題についての情報は、各サービスのリリースノートを参照してください。

### Presentation Studio On Demand

- Presentation Studio は OpenSolaris および最新版の Linux ディストリビューションに対応しません。

### Linux (64-bit) のサポート

- 64-bit 版の Linux には標準対応していません。
- Firefox 64-bit 版には対応していません。

### Microsoft Office 2010 のサポート

- UCF Toolkit は、64-bit 版の Microsoft Office 2010 に対応していません。
- Microsoft Office 2010 の新しいアニメーション、転換、3D グラフィックには対応していません。

- Microsoft Outlook 2010 64-bit は会社アドレス帳の WebEx 連絡先へのインポートに対応していません。

### Microsoft Office 2013 のサポート

- コンピュータに Microsoft Office 2013 がインストールされている場合、PowerPoint 2013 ファイルの共有時には次の機能はサポートされません:
  - アニメーションとトランジション
  - 埋め込まれたビデオおよびオーディオファイル
  - メモ専用パネルに表示される PowerPoint のメモ
  - UCF Toolkit
- 情報タブがカスタマイズされている場合、カスタム要素には対応しない可能性があります。WebEx ミーティングで適切に継続して表示されるかどうかを確認することをお勧めします。
- 一部の状況で次のエラーが発生します:
  - スライド上のテキストと色が実際のものとは微妙に異なる場合があります。
  - 一部のグラフィック要素がスライドから消えることがあります。
  - スライド上のフォントが多少ボケた感じになったり、実際のものとは微妙に異なる場合があります。
  - シェープのサイズが実際のものとは微妙に異なる場合があります。
- 編集モードで PowerPoint プレゼンテーション中のオブジェクトが適切に表示されない場合、スライドショー表示では自動的に削除されます。しかし WebEx ミーティングでそのようなファイルが共有された場合に、オブジェクトがそのまま表示される場合があります。
- パスワードで保護された PowerPoint 2013 ファイルはファイル共有機能を使って共有することができません。アプリケーション共有またはデスクトップ共有機能を使用してください。
- Windows 8 および 8.1 環境の Excel 2013 ファイルはファイル共有を使って共有することができません。アプリケーション共有またはデスクトップ共有を使用してください。
- Windows 8 (64-bit) 環境の Word 2013 (64-bit) はファイル共有を使って共有することができません。アプリケーション共有またはデスクトップ共有を使用してください。

### Windows 2000

Windows 2000 への対応はこのリリースを以って終了しました。Windows 2000 ユーザーはミーティングに参加できますが、正常な動作は保証されません。

### Mac OS

- Mac OS X 10.5 以前のバージョンを使用するユーザーは WebEx ミーティングに接続することができません。
- Mac PowerPC プラットフォームを使用するユーザーは WebEx ミーティングに接続することができません。

- WebEx ネットワーク録画プレーヤーは、Mac 環境での録画の MP4 形式への変換に対応していません。

### Firefox 4.0 以降

WebEx は Windows 環境の 32-bit バージョンの Firefox のみ対応しています。

### Citrix XenDesktop および XenApp

- 仮想デスクトップ環境の設計上の制限により、ビデオの送信はスムーズに機能しない場合があります。また、ミーティング中にビデオを送信すると、フレームレートが非常に遅くなる場合があります。ビデオ送信中のユーザー体験に多少の影響を与えます。
- 仮想デスクトップ環境ではビデオファイルの一部は共有できません。
- ホスト OS が Mac OS である場合に、ウェブカメラとマイク (接続型および搭載型) が認識されず、ミーティング中に使用できない場合があります。
- Remote Access および Access Anywhere には対応していません。OS の再起動後、Citrix プラットフォームにより Remote Access および Access Anywhere エージェントが自動的に削除されてしまうためです。
- 生産性向上ツールのユーザーは、ワンクリックミーティングを開始したり、Outlook からスケジュールされたミーティングを開始できません。
- 生産性向上ツールを XenApp 上で公開されたアプリとして使用する場合、ユーザーは、アプリを終了する前に生産性向上ツールアプリからログアウトする必要があります。さもないと、セッション ID がサーバーから自動的にクリアされません。

### Mac OS X 10.8 Mountain Lion

ミーティングに Mac OS X 10.8 Mountain Lion 上で PAC プロキシを使って開始または参加しようとすると、ミーティングアプリケーションがクラッシュします。これは Apple にレポート済みのオペレーティングシステムのバグです (Apple バグレポート #11844696)。この問題は Mac OS X 10.8.2 ビルドで修復されています。

### Internet Explorer 10、11

デスクトップ上の Internet Explorer 10 の拡張保護モードはサポートされていません。このモードではプラグインフリーのブラウザ体験を提供するため、WebEx アドオンが無効になり、さらに ActiveX と Java ダウンロードもできなくなります。ユーザーはこれまで通り、一時フォルダソリューション (TFS) を使ってミーティングに参加できます。あるいは、拡張保護モードをオフにすることで、通常通りにミーティングに参加することもできます。

デスクトップの Internet Explorer の互換表示を有効にすると、一部の WebEx ページのレンダリングが正しく行われない場合があります。WebEx サイトでは互換表示を無効にしてください。

### Windows 8 および 8.1

- ファイル共有で PDF を共有する場合は Adobe Reader が必要になります。
- 「プリンタドライバ」モードで Microsoft PowerPoint ファイルを共有すると、一部のコンテンツが表示されない場合があります。当社標準の Universal Communications Format (UCF) モードか、またはアプリケーション共有を使用することをお勧めします。

- Windows 10 環境でリモートコンピュータに接続時、ローカルスクリーンは黒画面になりません。
- Windows アプリではアプリケーション共有には対応していません。

## Windows 10

### • Microsoft Edge ブラウザの制限

- Edge ブラウザは、WebEx 一時フォルダソリューションの実行ファイル (.exe) をダウンロードし、インストールして使用することで対応します。
- ユーザーは WebEx ミーティングで Edge ブラウザを共有することはできません。
- Edge ブラウザは、Meeting Center、Event Center、Training Center、および Support Center でのミーティング、イベント、トレーニングセッション、サポートセッションへの参加と開始にのみ対応しています。Access Anywhere、Remote Access、ハンズオンラボ、WebEx プレーヤーの WebEx 録画形式ファイル (WRF)、または WebEx ネットワーク録画プレーヤーのアドバンスド録画形式ファイル (ARF) には対応していません。  
Edge ブラウザにはフル対応していないため、Internet Explorer または別のブラウザを使って WebEx を使用することをお勧めします。

### • Firefox 64-bit ブラウザの制限

- Firefox 64-bit ブラウザは、WebEx 一時フォルダソリューションの実行ファイル (.exe) をダウンロードし、インストールして使用することで対応します。
- Firefox 64-bit ブラウザは、Meeting Center、Event Center、Training Center、および Support Center でのミーティング、イベント、トレーニングセッション、サポートセッションへの参加と開始にのみ対応しています。Access Anywhere、Remote Access、ハンズオンラボ、WebEx プレーヤーの WebEx 録画形式ファイル (WRF)、または WebEx ネットワーク録画プレーヤーのアドバンスド録画形式ファイル (ARF) には対応していません。

### • コンテンツ共有の制限

- Windows アプリではアプリケーション共有には対応していません。
- ファイル共有で PDF を共有する場合は Adobe Reader が必要になります。
- 「プリンタドライバ」モードで Microsoft PowerPoint ファイルを共有すると、一部のコンテンツが表示されない場合があります。当社標準の Universal Communications Format (UCF) モードか、またはアプリケーション共有を使用することをお勧めします。
- Windows 10 からリモートコンピュータに接続する場合、ローカルスクリーンが黒画面にはなりません。

Windows 10 でこれらの制限を排除するには、ファイル共有またはアプリケーション共有の代わりに画面共有することをお勧めします。





## 第 4 章

# WebEx 生産性向上ツールのリリースノート (WBS30)

これらのリリースノートでは生産性向上ツールの機能、対応バージョン、既知の問題、および制限について説明します。

- [生産性向上ツールの新機能 \(WBS30\)](#), 71 ページ
- [WebEx 生産性向上ツールのサポート \(WBS30\)](#), 73 ページ
- [Windows Outlook XP、2003、および Mac OS X 10.6 のサポート終了のお知らせ \(WBS30\)](#), 78 ページ
- [Windows 版の生産性向上ツールの既知の問題と制限 \(WBS30\)](#), 78 ページ
- [Mac 版の生産性向上ツールの既知の問題と制限 \(WBS30\)](#), 89 ページ

## 生産性向上ツールの新機能 (WBS30)

### WBS30.1

#### Windows 10

WebEx の WBS30.1 以降、Microsoft Windows 10 の制限付きサポートを提供します。詳細については、クロスプラットフォームの既知の問題と制限 (*WebEx* システム要件と機能サポートのリリースノート) の項を参照してください。

### WBS30

#### 対応言語

WebEx 生産性向上ツールの Windows 版と Mac 版の両方がデンマーク語とトルコ語に対応しました。

#### 共通 ID のサポート

WebEx 生産性向上ツールが共通 ID に対応しました。共通 ID が有効な新規にプロビジョンされたサイト上でアカウントを持つユーザーにはログイン時に新しいログインインターフェースが表示されます。このサポートは Windows 版および Mac 版で利用できます。

### Windows 版のインストール体験の改善

WebEx 生産性向上ツールの Windows 版のインストール体験が改善されました。Windows 環境で生産性向上ツールがアップグレードされた後にコンピュータの再起動を行う必要がなくなりました。この改善は WBS30 の最初のインストール完了後から有効になります。つまりこの効果はユーザーが WBS30 バージョン以降の生産性向上ツールにアップグレードする時に確認できます。

### 音声セキュリティ

セキュリティ強化には音声会議用に自動生成される数字のパスワードが含まれます。数字のミーティングパスワードにはスケジュールリングインターフェースおよびメール招待状が含まれます(メール招待状にパスワード記載しないが無効になっている場合はこの限りではありません)。この機能は Windows 版および Mac 版で利用できます。

### テレフォニーサービスプロバイダ (TSP) 音声のコールバック

Mac 版 WebEx 生産性向上ツールは、Windows 版 WebEx 生産性向上ツール同様に、テレフォニーサービスプロバイダ (TSP) 音声のユーザー用にミーティングをスケジュールする時にコールバックの機能を有効にすることができます。主催者はこの機能を有効にするため、ミーティングのスケジュールリング時に [参加者はコールバックを受信] オプションにチェックを入れる必要があります。この機能では WebEx サイトと主催者の両方で TSP コールバックが有効になっている必要があります。

### CMR Hybrid での繰り返しミーティングの例外ミーティング

CMR Hybrid ミーティングでの繰り返しミーティングの例外が WebEx 生産性向上ツールに対応しました。単独ミーティングには未対応です。例えば、Webex ミーティングと TelePresence 会議室を単一の繰り返しの Outlook のみの会議シリーズに追加することはできません。これらの機能を単一の繰り返しミーティングで利用できるようにするには、WebEx と TelePresence ミーティングのシリーズ全体に適用する必要があります。また、ミーティングシリーズに例外ミーティングがある場合には、TelePresence 会議室を追加したり削除したりすることができません。

### CMR Hybrid ミーティングのシステム要件

CMR Hybrid ミーティングのスケジュールリングに WebEx 生産性向上ツールを使用するには、お使いのシステムが次の要件を満たす必要があります:

- Cisco TelePresence Management Suite (Cisco TMS) バージョン 15.0
- Cisco TelePresence Management Suite Extension for Microsoft Exchange (Cisco TMSXE) バージョン 5.0

さらに、一部の TelePresence サービスの使用には Cisco TelePresence Conductor バージョン 4.0 が必要な場合があります。

WebEx 生産性向上ツールと WebEx サイトのバージョンが WBS30 以前のものであっても Cisco TMS および Cisco TMSXE バージョンが対応している場合はテスト済みリリースが CMR Hybrid に対応します。

## WebEx 生産性向上ツールのサポート (WBS30)

### Microsoft Outlook への対応

Microsoft Outlook バージョン/ Microsoft Exchange Server バージョン	Windows Vista	Windows 7	Windows 8	Windows 8.1	Mac OS 10.7 - 10.10
Microsoft Outlook 2007/ Microsoft Exchange Server 2003	○	○	○	○	×
Microsoft Outlook 2010(32-bit および 64-bit)/ Microsoft Exchange Server 2007 (WBS27.22 以降で対応済み)	○	○	○	○	×
Microsoft Outlook 2010 (32-bit および 64-bit)/ Microsoft Exchange Server 2010	○	○	○	○	×
Microsoft Outlook 2010 (32-bit および 64-bit)/Microsoft Office 365 ホスティング型 Microsoft Exchange Server	○	○	○	○	×

Microsoft Outlook バージョン/ Microsoft Exchange Server バージョン	Windows Vista	Windows 7	Windows 8	Windows 8.1	Mac OS 10.7 - 10.10
Microsoft Outlook 2013 および Microsoft Outlook 2013 SP1 / Microsoft Exchange 2013	×	○	○	○	×
Microsoft Outlook 2013 および Microsoft Outlook 2013 SP1 / Microsoft Office 365 のがホストされている Exchange Server	×	○	○	○	×
Microsoft Outlook Mac 2011 バージョン 14.x	-	-	-	-	○

#### IBM Lotus Notes への対応

IBM Lotus Notes バージョン/ Domino Server バージョン	Windows Vista	Windows 7	Windows 8	Windows 8.1
IBM Lotus Notes/Domino Server 6.5.3, 6.5.4, 6.5.5, 7.0.0, 7.0.1, 7.0.2	×	×	×	×
IBM Lotus Notes/Domino Server 8.0.0, 8.0.1	○	○	○	○

IBM Lotus Notes バージョン/ Domino Server バージョン	Windows Vista	Windows 7	Windows 8	Windows 8.1
IBM Lotus Notes 8.5 (32-bit の Notes)/ Domino Server 8.5, 8.5.1, 8.5.2, 8.5.3 (WBS28 以降対応)	○	○	○	○
IBM Lotus Notes 9.0 (32-bit)/ Domino Server 9.0 (WBS29.3 以降で対応済み)	○	○	○	○

#### インスタントメッセージ対応 (32-bit バージョンのみ)

インスタントメッセージの名称とバージョン	Windows Vista	Windows 7	Windows 8 および 8.1
Yahoo メッセージャー 7.0-8.3、9.0、10	○	○	×
Skype 3.1-3.8、4.0.0.224、4.2	○	○	×
Google Talk 1.0.0.105、最新バージョン	○	○	×
IBM Lotus Sametime 7.0、7.5、8.0	○	○	○
IBM Lotus Sametime 8.0、8.5.1、8.5.2 (Lotus Notes 組み込み型)	○	○	○
Microsoft Office Communicator 2005、2007	○	○	×
Microsoft Office Communicator 2007 R2	○	○	○
Windows Messenger 2009	○	○	×
Windows Messenger 4.7	×	×	×

インスタントメッセージの名称とバージョン	Windows Vista	Windows 7	Windows 8 および 8.1
Microsoft Lync 2010、2013 (32-bit のみ)	○	○	○

### Microsoft Office への対応

Microsoft Office バージョン	Windows Vista	Windows 7	Windows 8	Windows 8.1
Microsoft Office XP, 2003, 2007	○	○	○	×
Microsoft Office 2010 (32-bit および 64-bit) (WBS27.22 EP4 以降で対応済み)	○	○	○	○
Microsoft Office 2013	×	○	○	○

### 対応ブラウザ

表 2: WebEx と Explorer および Firefox の連携

ブラウザの名称とバージョン	Windows Vista	Windows 7	Windows 8	Windows 8.1
Microsoft Internet Explorer 7.0	○	×	×	×
Microsoft Internet Explorer 8.0	○	○	×	×
Microsoft Internet Explorer 9.0	○	○	×	×
Microsoft Internet Explorer 10.0	×	×	○	○
Microsoft Internet Explorer 11.0	×	×	○	○
Mozilla Firefox 連携 (最新)	×	○	○	○

## シングルサインオンのブラウザ対応 (Windows)

Microsoft Internet Explorer バージョン	Windows Vista	Windows 7	Windows 8	Windows 8.1
Microsoft Internet Explorer 7.0	○	×	×	×
Microsoft Internet Explorer 8.0	○	○	×	×
Microsoft Internet Explorer 9.0	○	○	×	×
Microsoft Internet Explorer 10.0	×	○	○	○
Microsoft Internet Explorer 11.0	×	○	○	○
Chrome	×	○	○	○

## シングルサインオンブラウザ対応 (Mac)

Safari バージョン	Mac OS X 10.8	Mac OS X 10.9	Mac OS X 10.10	Mac OS 10.10.1	Mac OS 10.10.2	Mac OS 10.10.3	Mac OS 10.10.4
Safari 6.x 最新	○	×	×	×	×	×	×
Safari 7.x 最新	×	○	×	×	×	×	×
Safari 8.x 最新	×	×	○	○	○	○	○
Safari 9.x 最新	×	×	○	○	○	○	○

## Citrix 対応 (WBS26.45 - WBS30)

Citrix バージョン	Microsoft Outlook 2010 連携	Lotus Notes 8.5.3 連携
Citrix XenDesktop 5.6、7.6	○	○
Citrix XenApp Share Desktop 6.5	○	○

## Windows Outlook XP、2003、および Mac OS X 10.6 のサポート終了のお知らせ (WBS30)

WebEx 生産性向上ツールの Windows Outlook XP および 2003 への対応が終了します。

Windows Outlook XP、2003 および Mac OS X 10.6 でのサービステストを行うことはないため、WebEx がこれらのプラットフォーム上で正常に動作するかは保証できません。

ご存知の通り、Microsoft は 2015 年 7 月 14 日以降、Windows Outlook 2003 への対応を終了し、Apple は Mac OS X 10.6 のアップデートとセキュリティパッチの提供を終了しています。また以前に通知している通り、WebEx の Windows XP への対応は 2015 年 1 月です。支障なく WebEx を使用するために、ユーザーは対応しているメールシステムにコンピュータをアップグレードしてください。

## Windows 版の生産性向上ツールの既知の問題と制限 (WBS30)

ここに記載されている問題は、一部例外を除き、すべての WebEx サービスが対象です。

### 生産性向上ツールのバージョン

この製品の WBS 30 で機能させるには、お使いの生産性向上ツールのバージョンが 2.40 以降である必要があります。

### 既定のミーティングテンプレート

サイト管理で [最初に参加した出席者がプレゼンタに指定される] オプションが有効な場合、このオプションは WebEx サイトのミーティングスケジューラで既定で有効となります。Microsoft Outlook の WebEx 生産性向上ツールを使った WebEx ミーティングのスケジューリングで使用される既定のミーティングテンプレートでも有効になります。ユーザーによって作成されたカスタムミーティングテンプレートへの影響はありません。主催者がカスタムテンプレートを使ってミーティングをスケジュールし、さらに最初の出席者が自動的にプレゼンタになる場合、主催者はカスタムテンプレートで手動で設定を有効にする必要があります。

### メール招待状のテンプレート

WBS28.12.2 から WBS29.13 への更新で生産性向上ツールの招待状メールのテンプレートに変更が加えられました:

- **WBS28.9 ~ WBS28.12.27**—CMR Hybrid がサイトで有効になっていない場合に WebEx のみ、パーソナル会議、音声のみのミーティングの Windows 版 WebEx 生産性向上ツールの 2 つのメール招待状テンプレートがありました。主催者キーと主催者アクセスコードが含まれた主催者用とこれらの情報が含まれていない出席者用です。CMR Hybrid がサイトで有効になっ

ている場合、WebEx のみ、パーソナル会議、音声のみのミーティングの CMR Hybrid ミーティングのメール招待状テンプレートは 1 つだけとなります。このテンプレートには主催者キーおよびアクセスコードは含まれていない出席者用のものとなります。

- **WBS29.11 ~ WBS29.13.2**—CMR Hybrid がサイトで有効になっている場合、WebEx のみ、パーソナル会議、音声のみのミーティングの CMR Hybrid ミーティングのメール招待状テンプレートは 1 つだけとなります。このテンプレートには主催者キーおよびアクセスコードは含まれていない出席者用のものとなります。
- **WBS29.13.10**—パーソナル会議、音声のみのミーティングの Windows 版 WebEx 生産性向上ツールの 2 つのメール招待状テンプレートが再度利用可能になりました。主催者キーと主催者アクセスコードが含まれた主催者用とこれらの情報が含まれていない出席者用です。CMR Hybrid ミーティングでは引き続き 1 つのメール招待状テンプレートのみ対応し、主催者キーとアクセスコードが含まれない出席者用のものが提供されます。
- **WBS29.8 ~ WBS29.13.10**—Mac 版の WebEx 生産性向上ツールでは、CMR Hybrid ミーティング、WebEx のみ、パーソナル会議、音声のみのミーティングの CMR Hybrid ミーティングのメール招待状テンプレートは 1 つだけとなります。このテンプレートには主催者キーおよびアクセスコードは含まれていない出席者用のものとなります。

Mac 版の WebEx 生産性向上ツールでは引き続き単一のメールテンプレートが使用されます。このため、主催者が WBS29.13 以降の Windows 版の WebEx 生産性向上ツールにより生成された古いミーティングを編集すると、Mac 版の単一メールテンプレートの制限により、新しい内容は、主催者と出席者の両方向けの統合型メールテンプレートが使用され、生成されます。

さらに、主催者が WebEx ミーティングを Microsoft Outlook の「転送」コマンドで転送した場合、Windows 生産性向上ツールは主催者による転送を認識しないため、主催者用のメール招待状の代わりに出席者用のものを送信します。

一部の複雑な状況でもし主催者がミーティングシリーズの例外的なミーティングを中止し、ミーティングシリーズを編集すると、出席者に送信される中止の通知には、ミーティングが中止になったために WebEx ミーティング情報が記載されるべきではないのに、更新されたミーティングシリーズの情報が含まれる場合があります。

### カスタムメールテンプレート

サイト管理者が主催者と出席者の両方のメールテンプレートで同じ内容が表示されるようにカスタマイズすると、出席者用のメールテンプレートが主催者と出席者の両方に送信されます。

### 登録必須のメール招待状

ミーティング主催者が登録が必須のミーティングを更新すると、すべての出席者がミーティングへの登録リンクが記載された招待状がすべての出席者に送信されます。これにはすでに登録が済んでいる出席者も含まれます。

### 繰り返しミーティングの対応

繰り返しミーティングシリーズに WebEx ミーティングが追加されていない場合、ユーザーは繰り返しミーティングシリーズの一回分のミーティングに WebEx ミーティングを追加することはできません。また、単一の繰り返し CMR Hybrid (WebEx が有効な TelePresence) ミーティングシリーズ

には対応していません。CMR hybrid ミーティングの繰り返しミーティングの制限についての詳細は、CMR Hybrid (WebEx が有効な TelePresence) 連携の問題を確認してください。

主催者が Microsoft Outlook カレンダーから直接繰り返しミーティングのシリーズの一回のミーティングの議題または日時を編集すると、生産性向上ツールはミーティングシリーズのその一回の例外ミーティングのミーティング番号を正しく表示することができなくなります。しかし、主催者と出席者はそのミーティングシリーズのミーティング番号を入力することでミーティングには参加することができます。

### 生産性向上ツールのサイレントインストールおよび大量展開

管理者がサイトの生産性向上ツールのサイレントインストールまたは大量展開を実施すると、サイト上のユーザーは WebEx 設定ダイアログのツールパネルの設定を編集することができなくなります。さらに、サイレントインストールでは、サイト管理ツールの生産性向上ツールの一部の設定が無効になります。

WebEx 生産性向上ツールの大量一斉展開インストールを実施した顧客は新しいバージョンをお試しください。最新版の大量一斉展開を行う前にサイレントアンインストールを行ってください。

一部のサイレントアップグレードにおいて、コントロールパネル上の生産性向上ツールの反映が適切に行われません。この問題により生産性向上ツールの機能が影響することはありません。今後のリリースで修正されます。

生産性向上ツールのサイレントインストールおよび大量展開の詳細については、[IT 管理者ガイド用 WebEx 生産性向上ツールの大量展開](#)を参照してください。

### WebEx 生産性向上ツールパネルのアドレスボタン

Microsoft Outlook アドレス帳からメールアドレスの選択が可能な WebEx 生産性ツールパネルのアドレスボタンは 64-bit バージョンの Microsoft Outlook には対応していません。

### Lync 2013 のサポート

- Lync 2013 は生産性向上ツールによるユーザー状態の変更を許可しないため、また Lync の右クリックメニューへの WebEx メニューの埋め込みがなくなったため、Lync 2013 へのサポートは限定的なものとなります。
- Microsoft Outlook の WebEx 生産性向上ツールを使用した CMR Cloud ミーティングのスケジューリングは Lync に対応していません。[今すぐ開始] コマンドで開始するインスタントミーティングには対応しています。
- 64-bit バージョンの Lync には対応していません。

### WebEx Center と WebEx 録画サービスにより生成されるリンク

セキュリティ強化のアップデートにともない、Cisco は、WebEx Meeting Center、Training Center、Support Center、Event Center、WebEx 録画サービスで使用される暗号化キー管理を改善するための変更を行います。この変更により、これらのサービスにより生成された既存のリンクは更新され、場合により新しいリンクのリクエスト申請が必要になるかもしれません。

## CMR Hybrid (WebEx が有効な TelePresence) ミーティングの WebEx を使った参加オプションは常にチェックが入っていません

WBS29 以降、WebEx ミーティングでの「ユーザーが WebEx を使って参加することを許可する」オプションは既定でチェックが入らなくなりました。これは変更可能です。チェックを入れる場合は、新しいミーティングをスケジュールする度にオンにする必要があります。このビヘイビアは、このオプションをいったん有効にすると、それ以降のミーティングで自動的に有効になるという、以前の (WBS28) ビヘイビアと異なります。

## クロスプラットフォームのサポート

生産性向上ツールは、Microsoft Windows と Mac プラットフォームで利用できます。Linux、Unix および Solaris プラットフォームでは利用できません。

## Microsoft Outlook 連携

- Outlook 連携を使用してスケジュールされた繰り返される WebEx ミーティングに対して、出席者の登録を有効にすることができません。
- Outlook 連携中に使用されるテンプレートで [エントリ時に出席者をミュート] オプションが有効であっても、出席者がセッションに参加する時にサウンドが鳴ります。
- Outlook ソフトウェアのタイムゾーン設定が WebEx サイトと異なる場合、Outlook 連携を使用してスケジュールされた WebEx ミーティングは WebEx サイトで正しく表示されません。ただし、主催者および出席者の Outlook カレンダーには、ミーティングスケジュールのタイムゾーンは正しく表示されます。
- Outlook 連携を使用してスケジュールされた Training Center ミーティングには、次の制限事項があります。
  - [許可されたユーザーだけに表示] を指定することはできません。
  - ハンズオンラボコンピュータを予約することはできません。
  - 登録終了日および最大登録者数を指定することはできません。
  - 出席者をプレゼンタとしてトレーニングセッションに招待することはできません。
  - 出席者の権限を割り当てることはできません。
  - 異なるイベントが発生したときに送信するメールメッセージのタイプを編集することはできません。
  - テストおよびコースの教材を追加することはできません。
  - 繰り返される Training Center セッションで、主催者より前にミーティングに参加するオプションを使用することはできません。
- Outlook 連携を使用してスケジュールされた Event Center ミーティングには、次の制限事項があります。
  - プログラムを割り当てることはできません。

- 複数のタイムゾーンを1つのイベントに割り当てることはできません。
- 主催者またはプレゼンタの画像のアップロード、イベント資料のアップロード、UCF 自動再生オプションなどのイベントのオプションを追加することはできません。
- プレゼンタおよびパネリストを追加することはできません。
- イベントのメールテンプレートオプションを編集することはできません。
- 繰り返される Event Center セッションで、主催者より前にミーティングに参加するオプションを使用することはできません。
- Microsoft Outlook を使用してミーティングをスケジュールし、WebEx サービスサイト上でそのミーティング情報を変更した場合、その変更は Outlook 上では適用されません。
- Outlook で複数のミーティングを選択し、それらを同時に削除または移動したとしても、その変更は WebEx サービスサイト上では適用されません。
- 既存のミーティングをコピーして Outlook で新しいミーティングをスケジュールする場合、新しいミーティングは WebEx サービスサイト上で作成されません。代わりに、オリジナルミーティングとコピーされたミーティングの両方で同じ WebEx ミーティングリンクが表示されます。
- Outlook 連携を使ってスケジュールされた音声のみのミーティングのための出席者のアクセス番号 (傍受のみ) は表示されません。
- Microsoft Outlook 2010 64-bit は会社アドレス帳の WebEx 連絡先へのインポートに対応していません。
- 進行中のミーティングを編集することはできません。
- WebEx 設定ダイアログボックスの [スケジュール済みミーティング] タブの設定は奨励されていません。代わりに、WebEx サイトミーティングテンプレートの既定設定が使用されます。ユーザーは Outlook でのミーティングのスケジュールリングで指定された設定を使用することができます。

### Lotus Notes 連携

- Lotus Notes 連携を使用して WebEx ミーティングをスケジュールするときに、TSP テレフォニーを指定することはできません。
- WebEx Lotus Notes 連携では、各ユーザーの Domino データベースでスクリプトが挿入されている必要があります。その結果、「Editor」権限を持つ Notes ユーザーは、[サポート] ページから入手できる MSI を実行するだけで Lotus Notes 連携をインストールすることはできません。「Editor」権限を持つ Lotus Notes ユーザーの場合、Domino 管理者は、WebEx Lotus Notes 連携管理ツールを使用して、WebEx スクリプトを Notes データベースに挿入する必要があります。
- Lotus Notes 連携 MSI ファイルを使用して、「Manager」および「Designer」権限を持つ Lotus Notes ユーザーのみが WebEx Lotus Notes 連携をインストールできます。

- 繰り返される WebEx ミーティングの 1 回分を削除またはスケジュール変更した場合、WebEx サービスサイトでミーティング情報が更新されません。ただし、主催者および出席者の Lotus Notes カレンダーには、繰り返されるミーティングは正しく表示されます。
- 繰り返される WebEx ミーティングが Lotus Notes カレンダーで隔週 (2 週間ごと、3 週間ごとなど) で繰り返されるようにスケジュールされると、繰り返されるミーティングは隔週ではなく毎週発生するものとしてスケジュールされているように WebEx サービスサイトで表示されます。ただし、主催者および出席者の Lotus Notes カレンダーには、繰り返されるミーティングは正しく表示されます。
- Lotus Notes 連携を使用してスケジュールされた繰り返される WebEx ミーティングに対して、出席者の登録を有効にすることができません。
- Lotus Notes 連携中に使用されるテンプレートで [エントリ時に出席者をミュート] オプションが有効であっても、出席者がセッションに参加する時にサウンドが鳴ります。
- Lotus Notes クライアントのタイムゾーン設定が WebEx サービスサイトと異なる場合、Lotus Notes 連携を使用してスケジュールされた WebEx ミーティングは WebEx サービスサイトで正しく表示されません。ただし、主催者および出席者の Lotus Notes カレンダーには、ミーティングスケジュールのタイムゾーンは正しく表示されます。
- Lotus Notes 連携はメールテンプレートを使用しないため、Lotus Notes 連携を使用してスケジュールされた WebEx ミーティングの主催者および出席者のメール招待状の内容を設定することはできません。
- Lotus Notes 連携を使用してスケジュールされた Training Center ミーティングには、次の制限事項があります。
  - [許可されたユーザーだけに表示] を指定することはできません。
  - ハンズオンラボコンピュータを予約することはできません。
  - 登録終了日および最大登録者数を指定することはできません。
  - 出席者をプレゼンタとしてトレーニングセッションに招待することはできません。
  - 出席者の権限を割り当てることはできません。
  - 異なるイベントが発生したときに送信するメールメッセージのタイプを編集することはできません。
  - テストおよびコースの教材を追加することはできません。
  - 繰り返される Training Center セッションで、開始時刻より前にミーティングに参加するオプションを使用することはできません。
- Lotus Notes 連携を使用してスケジュールされた Event Center ミーティングには、次の制限事項があります。
  - プログラムを割り当てることはできません。
  - 複数のタイムゾーンを 1 つのイベントに割り当てることはできません。

- 主催者またはプレゼンタの画像のアップロード、イベント資料のアップロード、UCF 自動再生オプションなどのイベントのオプションを追加することはできません。
- プレゼンタおよびパネリストを追加することはできません。
- イベントのメールテンプレートオプションを編集することはできません。
- 繰り返される Event Center セッションで、開始時刻より前にミーティングに参加するオプションを使用することはできません。
- Lotus Notes を使用してミーティングをスケジュールし、WebEx サイト上でそのミーティング情報を変更した場合、その変更は Lotus Notes 上では適用されません。
- Lotus Notes で複数のミーティングを選択し、それらを同時に削除または移動したとしても、その変更は WebEx サービスサイト上では適用されません。
- 既存のミーティングをコピーして Lotus Notes で新しいミーティングをスケジュールする場合、新しいミーティングは WebEx サイト上で作成されません。代わりに、オリジナルミーティングとコピーされたミーティングの両方で同じ WebEx ミーティングリンクが表示されます。
- Outlook 連携を使ってスケジュールされた音声のみのミーティングのための出席者のアクセス番号 (傍受のみ) は表示されません。
- 主催者がすでにスケジュール済みの Lotus Notes 連携のミーティングを編集し、出席者を追加した場合は、出席者情報は WebEx サービスサイトに掲載されません。結果として出席者にとって、このミーティングはあなたが招待されている WebEx ミーティング一覧には表示されません。

### パーソナル会議室の問題

主催者が Windows 版 WebEx 生産性向上ツールを使って Microsoft Outlook からミーティングをスケジュールし、そしてカーソルが件名フィールドにある間に、[パーソナル会議室を追加] を選択すると、パーソナル会議室 URL が件名を上書きしてしまいます。しかし、主催者が [パーソナル会議室を追加] を選択する前に件名フィールドからカーソルを移動しておけば、件名はパーソナル会議室 URL で上書きされることはありません。

### CMR Hybrid (WebEx が有効な TelePresence) 連携の問題

CMR Hybrid の WebEx と TelePresence の連携には次の問題点があります:

#### • CMR Hybrid ミーティングをスケジュールする

管理者がお使いの WebEx サイトで TelePresence 連携をオンにしている場合、Windows 版の Microsoft Outlook で CMR Hybrid (WebEx が有効な TelePresence) ミーティングをスケジュールできます。このオプションは、TelePresence 連携がオンになっているサイトでのみ利用できます。このオプションがオンになったら、生産性向上ツールのアップグレードを行い、Outlook をいったん終了し、それから立ち上げるで新しいインタフェースを表示することができません。WBS29 以降、CMR Hybrid ミーティングのミーティングオプションダイアログボックス中の [ユーザーが WebEx を使って参加することを許可する] のオプションは固定ではなくなり、前回のミーティングでチェックが入っていた場合は、今回でもチェックが入りません。

ユーザーが WebEx を使って参加することを許可する場合、CMR Hybrid ミーティングで毎回チェックボックスにチェックを入れる必要があります。

CMR Hybrid が有効であるにもかかわらず Cisco TelePresence Management スイート (Cisco TMS) で WebEx が設定されていない場合、WebEx 生産性向上ツールを使って TelePresence のみのミーティングをスケジュールすることはできません。

#### • リソースを追加する

Outlook から WebEx ミーティングをスケジュールする場合に、TelePresence リソースを追加しても、あるいは追加のダイヤルインポートを追加しても、WebEx と TelePresence の連携ミーティングは自動的にスケジュールされます。これらのリソースを含めない場合は、WebEx のみのミーティングとなります。状態インジケータ (緑のチェックマーク) は、あなたが TelePresence ミーティングを予定にいったことを示します (これらのリソースが適切に追加された場合に限りです)。

#### • CMR Hybrid ミーティング用のメール招待状テンプレート

CMR Hybrid ミーティングでは引き続き 1 つのメール招待状テンプレートのみ対応し、主催者キーとアクセスコードが含まれない出席者用のものが提供されます。主催者キーおよび主催者アクセスコードを表示するには、CMR Hybrid ミーティング主催者が WebEx サイトにログインしてミーティング情報ページを見るか、または WebEx 生産性向上ツールから WebEx サイトにログインし、アドバンスド WebEx 設定ダイアログボックスで情報を表示します。生産性向上ツールでのメールテンプレート対応についての詳細については、Windows の既知の問題/制限の前に、「メール招待状のテンプレート」の章を参照してください。

Windows バージョンの生産性向上ツールの CMR Hybrid ミーティングは HTML メール招待状を送信できません。メール招待状はプレーンテキスト形式のみに対応しています。

WebEx が有効な CMR Hybrid ミーティング用の生産性向上ツールのメールテンプレートには、音声のみの発信者がモバイル端末からこのオプションを選択することでミーティングの音声だけに参加できるよう「%ConfCallParticipant%」の変数は含まれません。その代わりに、モバイル端末のユーザー (データ通信と音声回線の同時接続が可能であること) は、[WebEx ミーティングに参加] のリンクまたは招待状内にある URL、および CMR Hybrid ミーティングに、Cisco WebEx Meetings モバイルアプリを使って、音声、双方向ビデオ、データとコンテンツの共有を行います。モバイル端末でコールを受けるか、または手でコールイン番号にダイヤルし、さらに招待状内にあるミーティング ID 番号またはアクセスコードをダイヤルします。

#### • タイムゾーンおよび夏時間

WebEx のタイムゾーンと Cisco TelePresence Management スイートのタイムゾーンは一致していないといけません。さもないと、ミーティングの時刻が同期されません。WebEx サイトと Cisco TelePresence Management スイート間の夏時間の変更を行うと、ミーティングのスケジュール時刻が 1 時間前倒しになる可能性があるため、再スケジュールする必要があります。ミーティングシリーズの一部のミーティングで夏時間が開始される前に行われるミーティングでこの問題が発生する場合、2 つのミーティングシリーズを作成し、一方は夏時間が開始する前に終了するミーティングシリーズ、もう一方は夏時間が開始された後に開始するミーティングシリーズを設定します。

#### • 繰り返しのミーティングシリーズの例外ミーティング

- CMR Hybrid ミーティングでの繰り返しミーティングの例外が WebEx 生産性向上ツールに対応しました。単独ミーティングには未対応です。例えば、WebEx ミーティングと TelePresence 会議室を単一の繰り返しの Outlook のみの会議シリーズに追加することはできません。これらの機能を単一の繰り返しミーティングで利用できるようにするには、WebEx と TelePresence ミーティングのシリーズ全体に適用する必要があります。
- バージョン 30 以前の場合、単一の例外ミーティングを含むミーティングシリーズを編集する場合、例外のプロパティには Microsoft Outlook のルールが適用されます。
- 主催者が CMR Hybrid ミーティングシリーズの一回の単体ミーティングを Microsoft Outlook カレンダーから議題を編集したりミーティング時刻を変更し、さらにシリーズ全体から WebEx を削除したとしても、WebEx ミーティング情報は例外ミーティングに表示されます。
- 主催者が繰り返しの CMR Hybrid ミーティングのシリーズをスケジュールし、最初の一回のミーティングを開始しないままに開始時刻を過ぎてしまうと、以降主催者はそのミーティングの日時を更新することができなくなります。しかし、主催者はミーティングシリーズ全体に対して日時を変更することは可能です。
- もし CMR Hybrid ミーティングシリーズの一回のミーティングから WebEx ミーティングを削除する場合、それを TelePresence のみのミーティングに変更することになります。しかし Cisco TelePresence Management スイート (Cisco TMS) はその例外ミーティングの WebEx 情報を引き続き表示します。
- ミーティングシリーズ中のすべての回の繰り返しミーティングを単独ミーティングに変更し、さらに TelePresence ミーティングをシリーズ全体に追加しようとする、Cisco TelePresence Management スイートと Microsoft Exchange (Cisco TMSXE) の連携は、シリーズが過去のものであるものと判断し、ミーティングスケジューラおよび主催者には適切な警告メッセージを表示しなくなります。この問題を回避するには、既存のシリーズをいったん削除し、TelePresence が追加されている新規のシリーズを作成し、そしてそのシリーズの例外ミーティングを個別に編集し、単体ミーティングを作成する、という方法があります。
- Cisco TMS、モバイルアプリケーション、Microsoft Exchange ベースの TelePresence のみのミーティングの例外ミーティングは WBS30 および Cisco TMS 15 バージョンで対応します。Cisco TMS を使った WebEx の例外ミーティングまたは TelePresence の例外ミーティングのスケジュールリングは今後のリリースで対応予定です。

現在 Cisco TMS はこれらの例外ミーティングを処理できますが、WebEx の繰り返しのミーティングシリーズの単体のミーティングにのみ送信します。組織の WebEx ミーティングリストが正確でなくなりますが、主催者 (Multipoint Control Unit または TelePresence Server) はミーティングを開始することができます。
- 例外ミーティングを持つシリーズの TelePresence 会議室の追加、変更、削除には対応していません。この問題を回避するには、シリーズを削除して新しいシリーズを作成します。
- すべての TelePresence 属性とポートまたはすべての WebEx 属性を例外ミーティングを持つシリーズから削除すると、そのような属性と TelePresence 会議室はすべてシリーズ

と例外から削除され、単独ミーティングの作成を防ぎます。この問題を回避するには、シリーズを削除して新しいシリーズを作成します。

- WebEx は Cisco TMS がサポートする繰り返しのフルパターンをサポートしていません。
- Cisco TMSXE に含まれない TelePresence を Outlook 会議室の「To」アドレスラインに追加しても、WebEx シリーズまたは Outlook のみのシリーズの TelePresence ミーティングの一回分、および TelePresence の例外ミーティング、および単独ミーティングは追加されません。
- WebEx 属性または TelePresence 属性または例外ミーティングを持つミーティングシリーズのポートを追加または変更しても、これらの属性は例外ミーティングでは変更されません。

#### • Cisco Unified MeetingPlace Audio

WebEx と Cisco TelePresence の連携に対応するバージョンの WebEx 生産性向上ツールは Cisco Unified MeetingPlace Audio をサポートしていません。お使いのコンピュータに Cisco Unified MeetingPlace 生産性向上ツールがインストールされており、WebEx または TSP 音声を使って WebEx と TelePresence の連携ミーティングを頻繁にスケジュールする場合は、Cisco TelePresence Management Suite (TMS) の Smart Scheduler を使ってスケジュールしてください。お使いのコンピュータに 2 つのバージョンの WebEx 生産性向上ツールをインストールすることはできません。

#### • 電話サービスプロバイダ (TSP) 音声

一部の電話サービスプロバイダ (TSP) の音声アカウントで、TSP アカウントを持つ主催者が隣接した 2 つの CMR Hybrid または CMR Cloud ミーティングをスケジュールした場合、1 つ目が終了した後すぐに開始される 2 つ目が開始され、さらに TelePresence のスケジュールリングシステムが自動的に 1 つ目のミーティングの終了時間を延長した場合、2 つ目のミーティングは自動的に終了されます。これは、同じ TSP 音声アカウントを同時に 2 つのミーティングで使用することができないためです。この問題を解決するには、主催者に 2 つ TSP 音声アカウントと主催者アクセスコードがあり、一つのアカウントを最初のミーティング、もう一つのアカウントを 2 つ目のミーティングに使用します。別の方法としては、管理者が TelePresence システムによるミーティングの自動延長を無効にすることです。

#### • Microsoft Office 365、Microsoft Outlook 2010、および Windows 8 と 8.1 のサポート

CMR Hybrid 連携が有効になっている WebEx サイトでは、Microsoft Office 365、Microsoft Outlook 2010、および Windows 8 と 8.1 に対応させるには、最新版の Cisco TelePresence Management Suite (Cisco TMS) および Cisco TelePresence Management Suite Extension for Microsoft Exchange (Cisco TMSXE) が有効になっている必要があります。詳細は「[Cisco TelePresence Management Suite \(TMS\) 設定ガイド](#)」ページの「*Cisco Collaboration Meeting Rooms (CMR) Hybrid 設定ガイド*」の「Cisco WebEx 機能と注意点」章の前提条件を確認してください。

#### • インスタントミーティングとパーソナル会議ミーティング

インスタント CMR Hybrid ミーティングを開始することはできませんが、CMR Hybrid ミーティングはスケジュールだけすること可能です。CMR Hybrid ユーザーがインスタントミーティングを開始する場合、WebEx のみのミーティングとなり、TelePresence 連携は含まれません。

WBS29.11以降、「今すぐミーティング」で開始されるインスタントミーティング(旧ワンクリック)は既定によりパーソナル会議内で開催されます。このオプションは「基本設定」で変更できます。CMR Hybrid ユーザーにもパーソナル会議室が提供されますが、WebEx ミーティングアプリケーションまたはモバイルアプリからパーソナル会議室にアクセスするユーザーに限定されます。ユーザーが会議システムまたはアプリケーションから参加できるパーソナル会議室ミーティングを持つには、WebEx サイトと主催者アカウントが CMR Cloud に有効にされている必要があります。

WebEx および TelePresence の両方を使用するインスタントミーティングの解決法は、TelePresence システムからミーティングを開始し、それからネームドホストがミーティングの詳細ページで[インスタントミーティング]を選択することで、外部参加者が WebEx アプリケーションまたはモバイルアプリから TelePresence ミーティングに参加することができます。

- **WebEx のみおよび TelePresence のみのミーティングのスケジュール**

CMR Hybrid 連携が有効な WebEx サイトでは、CMR Hybrid ユーザーが生産性向上ツールで WebEx のみのミーティングまたは TelePresence のみのミーティングをスケジュールするには、Cisco TelePresence Management Suite Extension for Microsoft Exchange (Cisco TMSXE) が必要になります。

- **主催者の最大同時ミーティング数**

有効にされた CMR Hybrid 連携を持つ WebEx サイトでは、主催者は同時開催が可能な2つ以上の CMR Hybrid ミーティングを持つことはできません。

- **パーソナル会議および音声のみのミーティング**

CMR Hybrid ユーザーは、電話サービスプロバイダ (TSP) 音声を持つサイトの WebEx 音声および音声のみのミーティングのサイトパーソナル会議ミーティングをスケジュールすることができますが、これには WebEx のみのミーティングタイプで CMR Hybrid 連携は含まれません。

- **CMR Hybrid 機能のブランディングとカスタマイズ未対応**

サイト管理者は、Outlook 連携内の CMR Hybrid Meeting Options パネルのブランディングスタイルを変更すること、Meeting Options パネルおよび TelePresence、WebEx アドバンスド設定ダイアログボックス中の情報を非表示にすること、そしてビデオコールイン参加者数を制限すること、等の操作を行うことはできません。

## WebEx ワンクリック/インスタントメッセージ連携/Microsoft Office 連携

- ミーティングに参加ページ上で出席者の名前とメールを自動的に入力するためにパーソナライズされた参加リンクを使用する場合、いくつかのメールゲートウェイによりリンクが途切れることがあります。出席者はリンクをクリックすることができますが、ミーティングに自動的に参加することはできません。ミーティングに参加する前に名前とメールアドレスを入力する必要があります。現時点では、この問題の解決策はありません。
- ワンクリックユーザーインターフェイスを使用して、出席者をセールスチームのメンバーまたはパネリストとして招待することはできません。

- サイレントインストーラーを使ってインスタントメッセージ連携がインストールされた場合、ユーザーは、1度インスタントメッセージからログアウトして、再度ログインし、WebEx 生産性向上ツール連携機能を確認します。

## Mac 版の生産性向上ツールの既知の問題と制限 (WBS30)

ここで記述されている注意点はすべての WebEx サービスに関係しています。(例外を除く)

### 生産性向上ツールのバージョン

この製品の WBS 30 で機能させるには、お使いの生産性向上ツールのバージョンが 2.40 以降である必要があります。

### 既定のミーティングテンプレート

サイト管理で [最初に参加した出席者がプレゼンタに指定される] オプションが有効な場合、このオプションは WebEx サイトのミーティングスケジューラで既定で有効となります。Microsoft Outlook の WebEx 生産性向上ツールを使った WebEx ミーティングのスケジューリングで使用される既定のミーティングテンプレートでも有効になります。ユーザーによって作成されたカスタムミーティングテンプレートへの影響はありません。主催者がカスタムテンプレートを使ってミーティングをスケジュールし、さらに最初の出席者が自動的にプレゼンタになる場合、主催者はカスタムテンプレートで手動で設定を有効にする必要があります。

### メール招待状のテンプレート

Mac 版の WebEx 生産性向上ツールでは、CMR Hybrid ミーティング、WebEx のみ、パーソナル会議、音声のみのミーティングの CMR Hybrid ミーティングのメール招待状テンプレートは 1 つだけとなります。このテンプレートには主催者キーおよびアクセスコードは含まれていない出席者用のものとなります。しかし、主催者はメール招待状内のリンクを選択し、主催者アカウントにログインすれば、ミーティング情報ページから主催者情報を見ることができます。主催者は WebEx 生産性向上ツールメニューから「基本設定」を選択して音声情報を参照することができます。この情報は WebEx サイトの [基本設定] ページの [音声] セクションでいつでも確認できます。

WBS29.13 では、Windows 版の WebEx 生産性向上ツールは異なる 2 津のメールテンプレートを持つことができます。しかし、Mac 版の WebEx 生産性向上ツールでは引き続き単一のメールテンプレートが使用されます。このため、主催者が WBS29.13 以降の Windows 版の WebEx 生産性向上ツールにより生成された古いミーティングを編集すると、Mac 版の単一メールテンプレートの制限により、新しい内容は、主催者と出席者の両方向への統合型メールテンプレートが使用され、生成されます。さらに、主催者が WebEx ミーティングを Microsoft Outlook の「転送」コマンドで転送した場合、Windows 生産性向上ツールは主催者による転送を認識しないため、主催者用のメール招待状の代わりに出席者用のものを送信します。

### 登録必須のメール招待状

ミーティング主催者が登録が必須のミーティングを更新すると、すべての出席者がミーティングへの登録リンクが記載された招待状がすべての出席者に送信されます。これにはすでに登録が済んでいる出席者も含まれます。

### Microsoft Office 365 のサポート

Microsoft Office 365 アプリケーションは今のところ Mac 版の WebEx 生産性向上ツールには対応していません。しかし、Mac 版の WebEx 生産性向上ツールは Microsoft Office 365 Exchange サーバー環境の Microsoft Outlook 2011 には対応します。

### 生産性向上ツールのサイト管理オプション

サイト管理ツールの生産性向上ツールページで、「インストールオプション」および「連携」下のオプションは Windows 版の WebEx 生産性向上ツールのみに対応します。Mac 版の生産性向上ツールには影響しません。また、Mac 版の生産性向上ツールで利用できる連携は Microsoft Outlook 連携だけです。

### Microsoft Outlook のサポート

Mac 版の WebEx 生産性向上ツールの Microsoft Outlook 対応では次の既知の問題と制限があります:

- バージョン 14.x 以降の Mac 版 Microsoft Outlook にのみ対応しています。Microsoft Outlook 2015 および 2016 には未対応です。
- WBS29.8 以降でスケジュールされたミーティングにのみ対応します。以前のバージョンの WebEx Center でスケジュールされた Meeting には対応しません。
- Cisco WebEx Meetings Server のミーティングには対応していません
- Mac 版の Microsoft Exchange Server 2007 および Microsoft Outlook を使用した WebEx 生産性向上ツールでは、既知の問題が発生する場合があります。
- 繰り返しのウィンドウでの編集ではなく、Outlook カレンダービューで WebEx ミーティングを更新した場合、一部の Outlook ビヘイビアは WebEx 生産性向上ツールのカレンダービューと連動していないため、限定的な問題が発生します。
- WebEx 生産性向上ツールは Microsoft Outlook 2015 および 2016 に対応しておらず、これらのバージョンで利用することはできません。

### サインインとサインアウト

- 一部の状況において、Mac 版生産性向上ツールではユーザーを WebEx サイトのログインページにリダイレクトさせ、パスワードの変更を促します。
- Mac 版生産性向上ツールはエンタープライズのシングルサインオンユーザーに対応します。しかし、エンタープライズサイトのシングルサインオンがない場合、
- シングルサインオンユーザーがはじめて Mac 版の WebEx 生産性向上ツールにログインする前に、WebEx サイトに移動し、Safari から手動でサイト認証を行う必要があります。

### CMR Hybrid (WebEx が有効な TelePresence) 連携の問題

Windows 版の WebEx-が有効な TelePresence 連携 (CMR Hybrid) の既知の問題は Mac 版にも影響します。これらの問題については、[Windows 版の既知の問題/制限の「CMR Hybrid \(WebEx が有効な TelePresence\) 連携」](#)を参照してください。

CMR Hybrid が有効であるにもかかわらず Cisco TelePresence Management スイート (Cisco TMS) で WebEx が設定されていない場合、WebEx 生産性向上ツールを使って TelePresence のみのミーティングをスケジュールすることはできません。

CMR Hybrid ミーティングでの繰り返しミーティングの例外が WebEx 生産性向上ツールに対応しました。単独ミーティングには未対応です。例えば、Webex ミーティングと TelePresence 会議室を単一の繰り返しの Outlook のみの会議シリーズに追加することはできません。これらの機能を単一の繰り返しミーティングで利用できるようにするには、WebEx と TelePresence ミーティングのシリーズ全体に適用する必要があります。

Mac 版の WebEx 生産性向上ツールで主催者が CMR Hybrid ミーティングをスケジュールして保存を済まし、すべての出席者に招待状を送信し、さらに後ほどそのミーティングを編集してメールアドレスフィールドから TelePresence 会議室を追加または削除すると、すべての元の出席者が自動的に更新情報を受信します。これはバグです。通常では変更を加えた出席者のみに更新情報を送信するか、または全員に送信するか、の確認が Microsoft Outlook により問われます。

主催者が繰り返しのミーティングシリーズの一回のミーティングから招待者または TelePresence 会議室を削除すると、それらはシリーズ全体から削除されます。この問題は Mac 版の Microsoft Outlook のビヘイビアに起因します。

### Safari の Active Directory フェデレーション サービス (ADFS) のシングルサインオン 2.0 への対応

Apple の既知の問題により、Mac 版生産性向上ツールのユーザーは Mac OS 10.10-10.10.3 環境の Safari ブラウザおよび Mac 版 WebEx 生産性向上ツールからの Active Directory Federation Services (ADFS) 2.0 ベースのシングルサインオンを使ってのサインインはできませんでしたが、この問題は Mac OS 10.10.4 以降では解決済みです。

### デスクトップアイコン

デンマーク語とトルコ語のバージョンの WebEx 生産性向上ツールではデスクトップのショートカットアイコンとツールチップのが英語で表示されます。

### Windows と Mac 間の既知の相互運用性の問題

以下は Windows と Mac 版の WebEx 生産性向上ツール間の既知の相互運用性の問題です:

- Windows 版の WebEx 生産性向上ツールでスケジュールされたミーティングシリーズに例外ミーティングがある場合、または Windows 版の WebEx 生産性向上ツールでミーティングシリーズと例外ミーティングが更新された場合、Mac 版の生産性向上ツールのユーザーにはミーティングシリーズが更新されません。
- Windows 版の生産性向上ツールでスケジュールまたは更新されたミーティングは Mac 版の生産性向上ツールではキャンセルすることができません。これには、例外ミーティングが含まれないミーティングシリーズ、例外ミーティングが含まれるミーティングシリーズ、一回の

例外ミーティング、ミーティングシリーズの一回のミーティング、および一回のミーティングが含まれます。



## 第 5 章

# WebEx 音声のリリースノート (WBS30)

WebEx 統合型音声は高い性能と多彩な機能を提供する電話を使用した音声会議サービスです。このサービスは、スタンドアロンモードで使用することも、WebEx ミーティングと連携させて使用することも可能です。

- [WebEx 音声の新機能 \(WBS30\), 93 ページ](#)
- [WebEx 音声機能 \(WBS30\), 94 ページ](#)
- [WebEx 音声のよくある質問 \(WBS30\), 95 ページ](#)
- [WebEx 音声オプション \(WBS30\), 95 ページ](#)
- [WebEx 音声機能比較 \(WBS30\), 99 ページ](#)

## WebEx 音声の新機能 (WBS30)

### WBS30

#### 言語サポート

WebEx 音声のコールインとコールバックがデンマーク語に対応しました。トルコ語はコールバックのみに対応しています。

#### 数字のミーティングパスワード

WebEx 音声は電話またはビデオ会議システムおよびアプリケーションから参加するユーザーにミーティングパスワード入力を強制する任意の機能に対応しました。これが有効な場合は、ユーザーが電話またはビデオ会議システムおよびアプリケーションから出席する際に数字のミーティングパスワード入力が求められます。WebEx アプリケーションから出席する最初の出席者でミーティングへのコールインを行う場合、出席者IDの入力が求められます。このポリシーはすべてのスケジュール済みのWebEx ミーティングに適用されることでミーティングの出席者がミーティング番号だけでなく、ミーティングパスワードを入力することでミーティングへの参加が認められていることを確かなものにします。パーソナル会議のミーティングおよびパーソナル会議室ミーティングでは適用されません。数字のミーティングパスワード要求と出席者ID要求のための設定

オプションは、[Support Secured Access to Meetings from Phone/SIP endpoints] オプションが事前設定されているサイト管理からアクセスできます。この機能を有効にする前にユーザーの Cisco WebEx Meetings モバイルアプリが最新バージョンに更新されていることを確認してください:

- Apple iPad および iPhone はバージョン 7.5 以降
- Android モバイル端末はバージョン 8.0 以降
- Windows 8 モバイル端末はバージョン 2.5 以降
- BlackBerry 10 モバイル端末はバージョン 3.7 以降

### 電話での認証

電話からミーティングに参加するユーザーにサインインを要求するオプション機能が WebEx 音声に追加されました。これが有効な場合、電話から参加するユーザーに WebEx 電話番号と音声 PIN を入力することで認証確認を行わせることができます。WebEx アプリケーションからの最初の参加者でコールインを行うユーザーに対し、出席者 ID の入力が必要です。このポリシーは、主催者がアドマンストスケジューラオプションを使用していて、さらに出席者に WebEx サイトのアカウントを要求している場合にスケジュール済み WebEx ミーティングに適用されます。この機能の設定オプションは、[Support Secured Access to Meetings from Phone/SIP endpoints] オプションが事前設定されているサイト管理からアクセスできます。この機能を有効にする前に、ユーザーの Cisco WebEx Meetings モバイルアプリケーションが最新版になっていること、さらにすべてのユーザーの WebEx ユーザープロファイルに電話番号および音声 PIN が加えられ更新されていることを確認してください。(バージョンの一覧は数字のミーティングパスワードを参照してください。)

## WebEx 音声機能 (WBS30)

### WebEx 音声 (ハイブリッド音声)

WebEx 音声 (ハイブリッド音声) なら、出席者はコンピュータ (VoIP) または電話のいずれかを使って音声会議に参加できる高い柔軟性を提供します。この機能を有効または無効にするミーティングレベルのオプションはありません。この機能は、WebEx ミーティングの間、WebEx 音声の有効である限りこの機能もまた有効です。ミュートやミュート解除、アイコン、発言可能の通知などの機能が、出席者の一括管理を可能にします。出席者は、コンピュータから電話 (またはその逆) にいつでも切り替えることができます。出席者の状況および会議に接続するモードは、参加者リストに表示されます。

WebEx 音声 (ハイブリッド音声) は、次のサービスおよびプラットフォームに対応しています:

WebEx 音声の対応 (ハイブリッド音声)	Windows	Macintosh	Linux/Solaris
Solaris Meeting Center	○	○	○
Training Center	○	○	○
Event Center	×	×	×
Support Center	×	×	×

## WebEx 音声のよくある質問 (WBS30)

質問: WebEx 音声の最大出席者数は?

回答: WebEx 音声の許容人数は、対応されるすべての WebEx サービスで最大で 1000 名の出席者です (電話使用の 500 名と WebEx 統合型 VoIP 使用の 500 名)。

質問: 特定の場所から電話をかける際の制限はありますか?

回答: はい。制限に関する概要は次のドキュメントを参照してください。 [http://www.webex.com/pdf/tollfree\\_restrictions.pdf](http://www.webex.com/pdf/tollfree_restrictions.pdf)

質問: 統合型音声は、VoIP による出席者とのハイブリッドモードまたはハイブリッド音声会議に対応していますか?

回答: はい。WebEx 音声は、選択されたサービスのハイブリッド音声モードに対応します。(上の表を参照)

電話回線サービスプロバイダ (TSP) 音声を使用する CMR Hybrid (WebEx が有効な TelePresence) ミーティングの既知の問題と制限を教えてください。

回答: 一部の電話サービスプロバイダ (TSP) の音声アカウントで、TSP アカウントを持つ主催者が隣接した 2 つの CMR Hybrid または CMR Cloud ミーティングをスケジュールした場合、1 つ目が終了した後すぐに開始される 2 つ目が開始され、さらに TelePresence のスケジューリングシステムが自動的に 1 つ目のミーティングの終了時間を延長した場合、2 つ目のミーティングは自動的に終了されます。これは、同じ TSP 音声アカウントを同時に 2 つのミーティングで使用することができないためです。

この問題に対処するには、主催者は 2 つの TSP 音声アカウントと主催者アクセスコードを使い、1 つ目のアカウントで最初のミーティング、2 つ目のアカウントで次に続くミーティングをスケジュールします。別の方法としては、管理者が TelePresence システムによるミーティングの自動延長を無効にすることです。

## WebEx 音声オプション (WBS30)



(注)

各オペレーションシステムで対応する音声のオプションの詳細は、[WebEx システム最小要件と機能対応のリリースノート \(WBS30\)](#)を確認してください。

		サービス			
機能	詳細	Meeting Center	Event Center	Support Center	Training Center
WebEx 電話会議	<p>この音声オプションは WebEx オンラインセッションに統合されています。これらのオプションの選択が可能です:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コールイン: WebEx はセッション参加時に有料および無料通話の電話番号を提供します(国際番号も利用できます)。</li> <li>• コールバック: セッション参加時に電話番号を入力することで、WebEx から電話がかかります。</li> </ul>	○	○	×	○

		サービス			
機能	詳細	Meeting Center	Event Center	Support Center	Training Center
音声ブロードキャスト	単方向音声、出席者が聴取者となるミーティングに適しています。主催者はコンピュータに接続されたマイクを使って発言します。	×	○	×	×
統合型 VoIP 音声	電話を使用する代わりにコンピュータを使用してインターネット経由で音声を転送します。	○	Windows のみ	○	Windows のみ

		サービス			
機能	詳細	Meeting Center	Event Center	Support Center	Training Center
パーソナル会議	<p>パーソナル会議を使えば、先に音声会議を開始して、必要に応じてビデオ会議を含むオンラインミーティングに拡張することができます。</p> <p>各パーソナル会議アカウントで最大で3つまでのアクセス番号を設定することができます(主催者と出席者のアクセスコード)。パーソナル会議アカウントにサインアップするには、[マイ WebEx] タブか [パーソナル会議] を選択してください。</p>	○	×	×	×
その他の電話会議サービス	サードパーティ電話会議サービスの使用。	○	○	○	○

## WebEx 音声機能比較 (WBS30)

機能	詳細	音声ブロードキャスト	WebEx 音声 <sup>6</sup>	統合型 VoIP	パーソナル会議
音声会議のサイズ	音声オプションの選択時に、あなたのセッションに出席するグループのサイズを考慮します。	3,000 名の出席者	1,000 名 (電話で 500 名、WebEx VoIP で 500 名)	500 名の出席者 (Training Center は 1,000 に対応)	500 名の出席者
複数の発言者	音声会議での発言可能な参加者数	既定では主催者、プレゼンタ、およびパネリストのみが発言できます	制限なし	制限なし	制限なし
参加および退出トーン	WebEx は出席者のセッション出退席の際に音を鳴らして通知します。	×	○	×	○
出席時にミュート	出席者がセッションに出席した時に、自動的にマイクをミュートにします。	適用外	○	○	×

機能	詳細	音声ブロードキャスト	WebEx 音声 <sup>6</sup>	統合型 VoIP	パーソナル会議
音声会議の自動開始	出席者がセッションに参加した時に音声を開始する。主催者がミーティングにまだ参加していない場合、出席者には録音されたアナウンスが再生され、主催者がまだミーティングに参加していないことが通知されます。	○	オプション	×	オプション
既定設定の保存	WebEx プロファイルのデフォルト音声設定を保存することで、より簡単に、お気に入りのセッティングを使用してセッションを開始したりスケジュールしたりできます。	○	○	○	○
レポート	WebEx 音声の利用詳細を表示するレポートを実行します。	○	○	○	○
TCP/UDP への対応	WebEx は TCP および UDP に対応します。	○	適用外	○	適用外

機能	詳細	音声ブロードキャスト	WebEx 音声 <sup>6</sup>	統合型 VoIP	パーソナル会議
WebEx 音声 (ハイブリッド 音声)ミーテ ィングの対応	WebEx 音声 (ハイブリッド 音声)ミーテ ィングでは、出 席者は電話回 線またはデスク トップの VoIP のいずれ かを使って会 議に参加でき ます。	○	○	×	適用外

<sup>6</sup> ハイブリッド音声を含む WebEx 音声。





## 第 6 章

# WebEx ビデオのリリースノート (WBS30)

WebEx Meeting Center、Training Center、および Support Center に高精細 (HD) ビデオの機能が備わりました。WebEx Meeting Center、Event Center、Training Center、および Support Center は既存の高画質ビデオにも対応します。

WebEx ビデオの使用についての詳細な説明については、WebEx サービスサイトのサポートページに移動して「ユーザーガイド」を参照してください。

- [ビデオの新機能 \(WBS30\)](#), 103 ページ
- [高精細ビデオの機能 \(WBS30\)](#), 107 ページ
- [ビデオの最小要件 \(WBS30\)](#), 110 ページ
- [高画質ビデオ対応カメラ \(WBS30\)](#), 111 ページ
- [高精細ビデオ対応カメラ \(WBS30\)](#), 112 ページ
- [ビデオの既知の問題および制限 \(WBS30\)](#), 112 ページ

## ビデオの新機能 (WBS30)

### WBS30

#### 共通 ID の連携

新たなプロビジョニングのための WebEx サイトではログイン課程とインターフェースが共通 ID に対応しました。これらのプロビジョニング WebEx サイトは、Cisco Spark と WebEx の共有 ID と共通管理を持つ共通設計でのみ利用できます。

マイ WebEx で表示される WebEx プロファイルが共通の WebEx プロファイルに対応しました。

#### WebEx と Spark の連携

主催者はミーティング終了後、[会議室の作成] を選択することで自動的に Cisco Spark 会議室を作成することができます。Cisco Spark 会議室はミーティングの議題と参加者を自動的に加え、Cisco Spark 内に作成されます。

主催者がミーティングを終了する際に Cisco Spark 会議室を作成するかどうかの確認が行われません。

主催者は、この連携に対応させるために Cisco Collaboration Management ツールまたは WebEx サイト管理で WebEx と Cisco Spark の両方の権限が有効になっている必要があります。

Cisco Spark に関する詳細は *Cisco Spark* リリースノートを参照してください。 <https://support.ciscospark.com/customer/portal/topics/578993-updates-and-known-issues/articles>

### Windows 10

ユーザーが Windows 10 でミーティングを開始または参加して画面共有を行うための強化が施されました。

### 改良されたビデオ機能

ミーティング中のビデオアイアログボックスが改善されました:

- あなたのミーティング参加時に、ビデオのセルフビューがビデオダイアログボックス内に表示されるため、ビデオの開始が簡単になりました。ダイアログボックスには今後のミーティングであなたが既定のオプションとしてビデオを開始するための最も適切なオプションが表示されます。
- 新しいビデオオプションを使えば、すべてのミーティングでビデオの自動開始を有効および無効にすることができます。ミーティング参加時にビデオダイアログボックスを無効にするための新しいオプションも追加されました。

ビデオビューのビデオスクロールバーは左右に移動します。

ミーティングの出席者が二人しかいない場合、ビデオビューレイアウトオプションはありません。参加者には既定で相互のビデオが映し出されます。

改善により、最近使用されたビデオが自動検出されるようになりました。

### Windows 環境での通知とコントロールの改善

チャットパネルが閉じているまたは折りたたまれている状態では、ユーザーにはチャット通知が表示されません。

録画中、録画パネルが閉じているか折りたたまれている状態でエラーが発生した場合に通知が表示されユーザーを警告します。

一部のミーティング中のコントロールが統合整理されました:

- 画面共有を始めると [共有中] ボタンが緑に切り替わり、ミーティングで画面が共有されていることを示します。
- [挙手] アイコンが参加者名の横に移動しました。
- [音声] ボタンおよび [招待あるいは催促します] アイコンは必要ではないため削除されました。これらの機能にアクセスするには、[クイックスタート] ページまたはメニューコマンドに移動してください。
- [退出させる] コマンドは、出席者が参加者の名前を選択し、右クリックメニューからアクセスします。

## Help Central

オンラインヘルプとガイドが製品の外部にホスティングされました。ミーティング中の Help リンクを含むほとんどのお使いの WebEx サイト内のリンクが [Help Central](#) にアクセスします。この新しいリンク先ではトレーニング、ドキュメント、サポート支援などにアクセスできます。英語以外の言語が設定されているサイトではヘルプリンクは [Cisco.com](#) の関連ページに移動します。

すべての言語で、カスタマイズされたクイックスタートページの [その他] リンクは Help Central につながります。

## 対応言語

Meeting Center、Event Center、Training Center、および Support Center のデンマーク語およびトルコ語が Windows に対応しました。Mac 環境では Meeting Center のみがデンマーク語およびトルコ語に対応しました。

## パーソナル会議室ページ

パーソナル会議室ページが最適化かつ簡素化されたため、パーソナル会議室の情報を簡単に見つけ、すばやく入室できるようになりました

- [入室] および [ロビーに入る] ボタン (出席者ビューの **パーソナル会議室** ページに表示されるボタ) が [参加] に変更されました。
- パーソナル会議室 URL、番号、招待状情報は、[情報] アイコンを選択すると表示されます。
- [電話で参加] 情報は [詳細情報] リンクを選択した時のみ表示されます。

## パーソナル会議室 ID

WBS30 以降、主催者のパーソナル会議室 ID の管理方法が増えました

- 既定では WebEx は主催者のユーザー名かまたはメールアドレスの頭の箇所を使ってパーソナル会議室 ID を生成していました。サイト管理者は、ユーザーの名と姓、およびパーソナル会議室番号を使って固有の会議室 ID を生成することも可能になりました。
- 同じ名と姓を持つユーザーが二人以上いる場合、WebEx はランダムな番号を追加してパーソナル会議室 ID を生成します。ユーザーの名および姓にラテン語以外の文字が使用される場合、WebEx は pr とシステムにより生成される番号の組み合わせを使用します。
- サイト管理者がユーザーのパーソナル会議室 ID としてパーソナル会議室ミーティング番号の使用を選択している場合、パーソナル会議室 ID は pr + ミーティング番号の形式で表示されます。
- サイト管理者はユーザーのパーソナル会議室 ID を会社ポリシーに適したより良いものに変更するための権限を持っています。パーソナル会議室 ID を変更すると、デスクトップ、モバイルのウェブ URL、およびビデオシステムまたはアプリケーションから参加する出席者が使用するビデオアドレス (SIP または H.323 URI) が変更されます。主催者アカウントを持つユーザーは、サイト管理者がパーソナル会議室 ID に変更を加えるとその変更を知らせる通知がメールを受け取ります。

既存のユーザー ID は変更されませんが、主催者メールアドレスの頭の箇所が使用される既定の形式が新しいものに変更されます。

### パーソナル会議室を自動的にロックする

主催者はミーティング開始後に指定分経過後にパーソナル会議室を自動的にロックするオプションを選択することができます。パーソナル会議室がロックされると、主催者はロビー管理機能を使って会議室への入室を許可する相手を指定できます。[ロック解除]を選択すれば会議室のロックを解除することができます。この機能を使用するには、モバイル端末のユーザーは iPad または iPhone (Android の場合は 8 以降) のために、Cisco WebEx Meetings アプリケーションをバージョン 7.5 以降にアップデートする必要があります。

### パーソナル会議室のメール通知

主催者はパーソナル会議室から離れている際に誰かがその会議室に入ると、メール通知を受け取ります。主催者はパーソナル会議室の基本設定で通知の設定を変更することができます。

### Collaboration Meeting Rooms (CMR) Cloud

- ビデオシステムのコールバック機能 (ベータ)CMR Cloud ユーザーはミーティングからビデオシステムへのコールバックを受信することですばやくミーティングに参加できます。この機能をうまく利用することで、ユーザーは Meeting Center アプリケーションからビデオアドレスを入力したり、または基本設定で好みのビデオアドレスを指定することができます。基本設定でビデオアドレスが指定されると、Meeting Center アプリケーションの音声およびビデオ接続ダイアログボックスでリストが表示されます。

このサービスは WebEx Hybrid Audio および Cloud Connected Audio をご利用のお客様のみが対象です。サイト管理者はミーティングアプリケーションで機能が利用できるようにそれらを有効にする必要があります。

- **Cisco Intelligent Proximity** で参加する (ベータ)。Cisco WebEx Meetings アプリバージョン 7.1 以降 (Android は 7.5 以降) を持っているユーザーは、サポートされている Cisco TelePresence システムからよりすばやくミーティングに参加することができます。Cisco Proximity アプリが Cisco WebEx Meetings アプリとして CMR Cloud と同一のスマートフォンまたはタブレットにインストールされている CMR Cloud ユーザーは、**Proximity** アイコンをタップしてすばやく CMRCloud ミーティングに参加することができます。ビデオシステムをこの機能のためにビデオシステムを設定する手順については、TelePresence システムの管理ガイドの「Intelligent Proximityの設定」の項を参照してください。最小要件と注意事項の一覧は、次のナレッジベースにある記事を参照してください。 <http://kb.webex.com/WBX89076>
- **ビデオシステム用の数字のパスワード**。主催者がミーティングパスワードを要求するスケジュール済みミーティングでは、ビデオシステムユーザーにはビデオシステムから数字のミーティングパスワードの入力を求められます。この数字は毎回のミーティングでランダムに生成され、ユーザーがミーティングに入る前に承認する必要があります。
- **Microsoft Lync** の相互運用性 (ベータ)。このリリースでは Microsoft Lync アプリケーションを使用するユーザーは CMR Cloud ミーティングに参加することができます。

### CMR Hybrid の繰り返しミーティングの例外ミーティングに対応

CMR Hybrid はユーザーが作成したミーティングシリーズの例外ミーティングに対応しました。CMR Hybrid ミーティングシリーズの一回のミーティングで Microsoft Outlook のプロパティ (日付、時刻、招待者、件名など)、WebEx プロパティ、および TelePresence プロパティを変更できます。

- WebEx 生産性向上ツール使用での Microsoft Outlook からの CMR Hybrid シリーズをスケジュールリング時に例外ミーティングに対応します。
- 既存の例外ミーティングが含まれたミーティングシリーズの編集では Microsoft Outlook のルールが適用されます。
- 単独ミーティングには未対応です。例えば、Webex ミーティングと TelePresence 会議室を単一の繰り返しの Outlook のみの会議シリーズに追加することはできません。これらの機能を単一の繰り返しミーティングで利用できるようにするには、WebEx と TelePresence ミーティングをシリーズ全体に加える必要があります。

制限についての詳細は、[Meeting Center 用の Collaboration Meeting Rooms \(CMR\) の既知の問題と制限事項](#)を参照してください。

### CMR Cloud および CMR Hybrid の VoIP 広帯域音声のサポート改善

CMR Cloud および CMR Hybrid の VoIP 広帯域音声のサポートが改善されました。VoIP 広帯域音声は TelePresence システムと WebEx ミーティングアプリケーション間のエンドツーエンドに対応し、TelePresence と MR Cloud の WebEx および CMR Hybrid ミーティング間の音質が改善されました。

#### システム要件

このリリースには対応プラットフォーム、オペレーティングシステム、言語にアップデートが含まれています。詳細は[システム要件](#)を参照してください。

#### WebEx 生産性向上ツール

このリリースには WebEx 生産性向上ツールにアップデートが含まれています。詳細を確認するには、[WebEx 生産性向上ツールのリリースノート \(WBS30\)](#)

#### WebEx 音声

このリリースには WebEx 音声にアップデートが含まれています。詳細は、[WebEx 音声のリリースノート \(WBS30\)](#)を参照してください。

#### サイト管理

このリリースには WebEx サイト管理にアップデートが含まれています。詳細を確認するには、[WebEx サイト管理のリリースノート \(WBS30\)](#)

## 高精細ビデオの機能 (WBS30)

機能	詳細	Meeting Center	Event Center	Training Center	Support Center
最大 720p の高精細 (HD) 解像度	ビデオ解像度は最大で 720p (1280x720) まで対応します。	○	×	○	×

機能	詳細	Meeting Center	Event Center	Training Center	Support Center
最大 360p の高解像度	ビデオ解像度は最大で 360p (640×360) に対応。	○	○	○	○
フルスクリーンビデオビュー	高精細または高画質ビデオ画像 (モニタサイズにより異なる) と 5 つのビデオサムネイル画像。	○	○	○	○ (ビデオサムネイルは含まれません)
拡張フルスクリーンビデオビュー	画面全体に拡張されたアクティブスピーカーのビデオ画像が、高精細ビデオでの受信に対応しました。	○	○ (高精細ビデオなしのフルスクリーンモード)	○	×
フルスクリーン共有ビューでアクティブスピーカーの表示	フルスクリーンでの共有ビュー中にアクティブスピーカーを前面表示にします。	○	○	○	フルスクリーンビュー中、顧客サポート担当者には分離しているパネル内にビデオが表示されます。顧客には顧客コンソールエリア内に配置されたビデオが表示されます。

機能	詳細	Meeting Center	Event Center	Training Center	Support Center
V フルスクリーン共有ビュー 上に表示する 自分のビデオ ビュー	フルスクリーンビュー中、 メインビデオ の画像中に自 分のビデオを 表示します。 自分のビデオ ウィンドウか らのビデオの 送信を開始ま たは停止しま す。	○	○	○	×
アクティブス ピーカーの切 り替え	声のボリュームが最も大き いアクティブ スピーカーが ビデオに表示 されるように 自動的に切り 替えられま す。	○	○	○	×
ビデオサムネ イル表示	参加者がビデオサムネ イルと共に一覧表 示されます。	○	○	○	×
ビデオの自動 調整	参加者のビデオ画質がネッ トワークの利用 可能な帯域 幅に合わせて 自動調整され ます。	○	○	○	○
カメラのホッ トプラグイン	出席者はミー ティング中に カメラを接続 したり切り替 えることがで きます。	○	○	○	○

機能	詳細	Meeting Center	Event Center	Training Center	Support Center
ビデオの固定表示	プレゼンタは、すべての参加者に対し、ビデオ表示の対象者を決定できる。	○	○	○	×
高精細ビデオのデコードを GPU にオフロードする	対応型 GPU チップセットがメイン CPU からデコード処理をオフロードします。	○	×	×	×

## ビデオの最小要件 (WBS30)

WebEx ビデオは、標準的な Meeting Center の要件に準拠するコンピュータであれば問題なく対応します。ビデオの解像度を 360p に設定する場合は、次の最小要件を満たしている必要があります:

- CPU:デュアルコアプロセッサ
- RAM:1 GB RAM
- USB をサポートする高画質ビデオ用のウェブカメラ ([高画質ビデオ対応カメラ \(WBS30\)](#)を参照してください。)

HD ビデオ (720p) を送信する場合は、次の最小要件を満たしている必要があります:

- CPU:クアッドコアプロセッサ (3 人以上のミーティング参加者)、デュアルコアプロセッサ (2 人のミーティング参加者)です。
- RAM:2 GB RAM
- 高精細ビデオ対応型の USB 接続ウェブカメラ ([高精細ビデオ対応カメラ \(WBS30\)](#)を参照してください。)

HD 高精細ビデオ (720p) を受信する場合は、PC が次の最小要件を満たしている必要があります:

- CPU:デュアルコアプロセッサ
- RAM:2 GB RAM

720p のビデオデコード処理をクライアントの GPU に渡すには、次のいずれかの GPU チップセットが必要です:

- Windows (DXVA):
  - NVIDIA GeForce 9800GT
  - NVIDIA GeForce GT 430
  - NVIDIA GeForce GTS 450
  - NVIDIA GeForce GTX 275
  - NVIDIA GeForce GTX460
  - NVIDIA GeForce GTX560
  - NVIDIA GeForce GTX560Ti
  - NVIDIA GeForce GT520
  - ATI Radeon HD 6950
- Mac OS X (VDA):
  - NVIDIA GeForce9400M
  - NVIDIA GeForce320M
- NVIDIA GeForce330M

## 高画質ビデオ対応カメラ (WBS30)

PC と互換性があるカメラは WebEx で動作します。WebEx 高画質ビデオがテスト済みのカメラは以下の通りです:

- Cisco VT Camera II
- Cisco VT Camera III
- Cisco Precision HD
- Logitech HD Webcam C920
- Logitech Quick Cam Pro 9000
- Logitech QuickCam Orbit AF
- Logitech QuickCam C905
- Logitech QuickCam S7500
- Logitech HD Pro Webcam C910
- Microsoft LifeCam HD
- Microsoft LifeCam VX-1000
- Microsoft LifeCam Cinema
- Microsoft LifeCam VX-6000
- Microsoft LifeCam NX-6000

- Microsoft LifeCam VX-3000

## 高精細ビデオ対応カメラ (WBS30)

WebEx 高精細ビデオがテスト済みのカメラは以下の通りです:

- Logitech HD Webcam C310
- Logitech HD Webcam C500
- Logitech HD Webcam C510
- Logitech HD Webcam C905/B905
- Logitech HD Pro Webcam C910/B910
- Logitech HD Webcam C920
- Microsoft LifeCam HD-5000/HD-5001
- Microsoft LifeCam HD-6000
- Microsoft LifeCam Cinema
- Microsoft LifeCam Studio
- Cisco Precision HD
- Cisco VT Camera III
- Apple iSight HD

## ビデオの既知の問題および制限 (WBS30)

この項では、WebEx 統合型ビデオへの影響の既知の問題について説明します。WebEx に対応するブラウザ、オペレーティングシステム、そして他の WebEx サービスに影響をおよぼす既知の問題は、[WebEx システム最小要件と機能対応のリリースノート \(WBS30\)](#)を参照してください。

### 高精細ビデオ

アプリケーション、デスクトップ、ストリーミングメディアの共有中、高精細ビデオは自動的にオフになります。これらの機能が終了したら自動的にオンに戻ります。

### Event Center でストリーミング再生を行うとプレゼンタのビデオが停止される

Event Center では、ビデオファイルを再生し、それをすべての参加者に対し共有すると、プレゼンタのビデオカメラの停止が求められます。プレゼンタは一度に1つのビデオのみ再生して送信できます。プレゼンタのビデオカメラは、ファイルまたはメディアのストリーミングを終えた時点で、再びオンになります。

この制限が追加されたことで、複数のビデオストリーミングが多数の参加者に送信される場合の帯域幅の問題を解消します。将来的にこの制限は廃止される予定です。

### ビデオファイル共有のストリーミング

WebEx のデスクトップバージョンから共有されているビデオファイルのストリーミングはモバイル端末で見ることはできません。

### コラボレーション会議室 (CMR) の一般的な問題

下記の問題は CMR Cloud ミーティングおよび CMR Hybrid (WebEx が有効な TelePresence) ミーティング共有のもので:

- **WebEx アプリケーションからビデオ端末またはアプリケーションにビデオを送信する**

CMR Cloud または CMR Hybrid ミーティングは常に TelePresence (またはその他のビデオ会議システムおよびアプリケーション) と WebEx 間の最高の解像度で開始されます。高精細ビデオが利用可能な状態になっている場合、参加全員が利用できます。WebEx 側の参加者の誰かの帯域幅が貧弱な場合、その参加者に合わせて TelePresence と WebEx 間の解像度が低くなります。従ってすべての参加者のビデオ解像度も低くなります。WebEx Cloud がビデオとアプリケーション共有または画面共有 (以前のデスクトップ共有) の両方を受け取り、処理するために必要な最低のビットレートは 1.2 Mbps です。これより低い場合、WebEx アプリケーションは共有アプリケーションまたは共有画面のみを表示します。

WBS29.11 以降、何かの理由によりローカル環境の WebEx アプリケーションに影響する低帯域幅または状態が悪い場合 (CPU または RAM の市場状況など)、WebEx アプリケーションは 1.2 Mbps ビットレートを保つことができません。ユーザーには「低帯域幅」の警告を示すメッセージが表示され、TelePresence ビデオは表示されません。WBS29.11 以降、WebEx アプリケーションのユーザーは自動的かつ定期的に WebEx Cloud に接続し、ネットワークとローカル環境の問題が解消していることを確認します。1.2 Mbps 以上のビットレート状態になり、ビデオの送受信ができるようになったら、ビデオの送受信を再開することができます。

CMR Cloud ミーティングで推奨される帯域幅の設定については、「[Cisco WebEx Meeting Center 設定ガイド](#)」ページの「*Cisco WebEx Meeting Center with Collaboration Meeting Rooms Enterprise Deployment Guide*」の前提条件を参照してください。

CMR Hybrid ミーティングで推奨される帯域幅の設定については、[Cisco TelePresence Management Suite \(TMS\) Configuration Guides](#)ページの「*Cisco Collaboration Meeting Rooms (CMR) Hybrid Configuration Guide*」の Cisco WebEx 機能と注意事項の章および、低帯域幅での Windows または Mac 版の WebEx Meeting Center クライアントの問題解消の章を参照してください。帯域幅の問題を解消する推奨されるサイト管理オプションの詳細については、[サイト管理のリリースノート](#)を参照してください。

- **ミーティングのビデオ体験**

WebEx ユーザーは、WebEx アプリケーションでアクティブスピーカーまたは最後に発言を行ったアクティブスピーカーのビデオ端末のみを見ることができます。発言を行わないビデオ端末のユーザーは WebEx アプリケーション内で表示されません。

ビデオ端末ユーザーは、端末画面上でアクティブスピーカーまたは最後に発言を行ったアクティブスピーカーのビデオ端末のみを見ることができます。発言を行わない WebEx ユーザーは画面には表示されません。

TelePresence 会議室内がやかましいと、WebEx ミーティングでアクティブスピーカーとなる可能性があります。必要に応じて主催者は「**ビデオ表示を固定**」コマンドを使って他の参加者のビデオ表示を固定することができます。

CMR Cloud または CMR Hybrid ミーティングで、Apple iPad または iPhone の 4G LTE 環境で参加しているユーザーのビデオは TelePresence システムには表示されません。しかし音声は生きたままとなります。この問題は、ビデオを TelePresence システムに送信するには、180 p ビデオが必要ですが、モバイル回線での 180 p ビデオの送信は Apple iTunes のアプリの要件で認められていないことに起因します。

- フルスクリーンビデオビュー

プレゼンタが、彼の画面共有 (以前のデスクトップ共有)、アプリケーション共有、ドキュメント共有の際に、フルスクリーンのビデオに切り替えると、出席者側で共有が一時停止されます (最後に共有された画面で停止します)。プレゼンタがフルスクリーンビデオビューを終了すると、共有が自動的に再開されます。

プレゼンタが共有を停止しても、出席者側のフルスクリーンビデオビューは継続されます。プレゼンタが共有を再開すると、フルスクリーンビデオビューが自動的に終了されます。

Mac または PC の WebEx アプリケーションで 2 台のモニタを使用している場合、1 つのモニタでフルスクリーンビューを行い、ビデオをウィンドウをドラッグし、もう 1 つのモニタに移動し、「フルスクリーンビューですべての参加者を表示する」アイコンを選択して画面共有またはアプリケーション共有をフルスクリーンで表示します。



## 第 7 章

# WebEx サイト管理のリリースノート(WBS30)

これは管理者のためのリリースノートです。

WebEx サイト管理では、WebEx Meeting Center、Event Center、Training Center、および Support Center の設定や管理を行います。

- [サイト管理の新機能 \(WBS30\), 115 ページ](#)
- [サイト管理機能 \(WBS30\), 117 ページ](#)
- [サイト管理の既知の問題および制限 \(WBS30\), 118 ページ](#)

## サイト管理の新機能 (WBS30)

### WBS30

#### 一新されたユーザインタフェースのデザイン

WebEx サイト管理が一新され、モダンでシンプル、そしてエンドユーザー用の WebEx ウェブサイトとの親和性が高いデザインになりました。UI の再設計は複数回に渡って行われますが、このリリースでは使用頻度が高い管理ページの更新がメインになっています。その他のページデザインは今後のリリースで更新されます。

#### メニュー構成の改善

WebEx サイト管理のメニュー構成が改善されました。以前の複雑なメニュー構成が統合整理され、シンプルで整合性の取れたメニューになりました。メニュー構成は左側ナビゲーションバーに表示され、開くとその他の情報が表示されます。例えば、以前レポートは他のサイト設定の下に隠れていました。現行では [レポート] メニュー下に移動されました。

#### 録画のセキュリティ

WebEx サイト管理者の録画アクセス管理に新しいオプションが追加されました。管理者は、ユーザーが録画にアクセスする前にログインを強制させることができます。管理者は録画のダウンロード制限をかけることも可能です。管理者は WebEx サイト管理ツールからこれらの制限を適用して Center 内のすべての録画を管理します。主催者は録画情報ページに移動して特定の録画に制限を

かけることができます。次の新しいオプションは WebEx サイト管理ツールおよび個々の録画情報ページからアクセスできます:

- 新しいオプションについて教えてください
- ダウンロードを制限する新しいオプション

#### 認証済みのパーソナル会議室のアクセス

WebEx サイト管理者はパーソナル会議室へのアクセスをログインユーザーのみに制限をかけることができます。このオプションが有効な場合、パーソナル会議室ミーティングに参加する出席者には参加前にログインが要求されます。

#### ミーティングの自動パスワード生成

サイトでパスワードが必須の場合にウェブ、生産性向上ツール、モバイルからのミーティングスケジューリング時に強固なミーティングパスワードが自動生成されます。これにより主催者は手動でパスワードを入力する必要がなくなりました。

#### 電話およびビデオ会議システムでのミーティングパスワードの強制

サイト管理者は、ビデオ会議システムまたは電話からのコール時に出席者に対し数字のミーティングパスワードの入力を強制できるようになりました。必須の場合に、出席者による入力が必要な数字のミーティングパスワードが生成され、ミーティングの招待状に記載されます。

#### 電話からの認証アクセス

サイト管理者は、コールイン手順によるミーティングへのコールイン時に出席者に認証(またはログイン)を強制させることができるようになりました。この機能を使用するために、出席者には基本設定またはプロファイルでの音声 PIN の設定が求められます。

#### 認証が必要なミーティングへの参加でビデオ会議システムを禁止する

サイト管理者は、ミーティングで認証が必要な場合に、出席者が TelePresence システムまたはその他のビデオ会議システムからミーティングに参加することを禁止します。ユーザーには TelePresence システムまたは他のビデオ会議システムを使った認証(ログイン)を提供する権限がないため、このオプションにより、非認証ユーザーがミーティングに参加できないことを確かなものにします。このオプションは Meeting Center のみで利用できます。

#### 免責事項

WBS30 では主催者、出席者、録画の免責事項のサポートが提供されました。有効な場合、この免責事項は、主催者にミーティング開始時に、また出席者にはミーティング参加時に、ユーザーに録画閲覧時に表示されます。

WebEx サイト管理から各免責事項を個別に有効にすることも可能で、Meeting Center、Training Center、Event Center および Support Center に個別に適用することも可能です。有効な場合、ミーティング、セッション、イベントへの参加、また録画の閲覧の前に免責事項に同意する必要があります。

免責事項に次の機能が含まれます:

- 免責事項はウェブページ、WebEx 生産性向上ツール、WebEx と Microsoft Outlook の連携からミーティングに参加する出席者に有効です。

- 免責事項はミーティングを開始する主催者にも有効です。
- また WebEx 録画を再生するユーザーに対しても有効になります。
- 管理者は、Meeting Center、Training Center、Event Center、Support Center に対して免責事項を設定できます。
- 免責事項に対応する言語は、英語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、簡体字中国語、スウェーデン語、ポルトガル語、ロシア語、オランダ語、韓国語、そして日本語です。
- WebEx サイト管理者には免責事項のアップロード、編集、有効無効化の権限があります。

#### シンプルになったクイックスタートページ

ミーティング中の Help リンクを含むほとんどのお使いの WebEx サイト内のリンクが help.webex.com の Help Central にアクセスします。この新しいリンク先ではトレーニング、ドキュメント、サポート支援などにアクセスできます。英語以外の言語が設定されているサイトではヘルプリンクは Cisco.com の関連ページに移動します。すべての言語で、カスタマイズされたクイックスタートページの [その他] リンクは Help Central につながります。

## サイト管理機能 (WBS30)

### グリニッジ標準時オフセット (ローカル時間との差分) 表示オプション

メールまたはウェブページのタイムゾーンのための GMT オフセットを表示するのオプションが、Greenwich Mean Time (GMT) オフセットかどうかを制御します。例えば、「GMT -8:00」はタイムゾーンと時刻で表示されます。米国およびカナダ国内のお客様で GMT を使用したくない場合は、このオプションを無効にすることができます。

### タイムゾーン設定

サイトのタイムゾーンラベルのブランディングが可能になりました。ラベルには、場所 (例えば、「サンフランシスコ」) およびタイムゾーン名 (例えば、「太平洋時間」) および夏時間 (DST) ラベル (例えば、「夏時間」または「標準時間」) などが含まれます。

### 実際に開始した時刻または開始予定時刻を表示する

Meeting Center で利用できる [スケジュールした時刻ではなく、実際の開始時刻にミーティングを表示する] オプションは、カレンダー上で表示される進行中のミーティングをスケジュール時刻で表示するか、または実際の開始時刻で表示するかを指定することができます。出席者が進行中のミーティングをカレンダーから簡単に見つけられるよう、既定では、スケジュールされた時刻で表示されます。サイト管理でこのオプションを有効にすると、既存のビヘイビアが切り替わります。

### Community ボタンオプション

[ナビゲーションバー上に Community ボタンを表示する] オプションにより、ナビゲーションバー上に [Community] ボタンを配置するかどうか選択できます。主催者と出席者はこのボタンを使って WebEx Community にアクセスできます。

### Microsoft Outlook 2010 へのアドレス帳のインポート

Microsoft Outlook 2010 64-bit は会社アドレス帳の WebEx 連絡先へのインポートに対応していません。

### セッションタイプ無しのサイト管理者アカウント

サイト管理アカウントの作成時にセッションタイプを指定する必要がなくなりました。またこのようなアカウントはサイトのネームドホストの数としてカウントされません。セッションを開始することはできませんが、権限が与えられている場合に限り、他の主催者に代わってミーティングをスケジュールすることができます。

### クイックスタートメニューから IM で招待およびリマインド

[プレゼンス連携] オプションでは、ミーティングのクイックスタートメニューにある [IM で招待] および [IM で催促] オプションを選択できます。また、サポートページにある [WebEx Connect](#) もダウンロードできます。

### ネームドホスト (音声のみ) ユーザー

パーソナル会議ミーティングタイプのみが有効なネームドホストに対して専用のアカウントが提供されます。これは、パーソナル会議ミーティングのみ開始できるユーザーです。このアカウントは、サイト管理のホームページに表示されます。

### アカウントサインアップの確認

[新しいアカウントの承認が必要です] オプションは、アカウントにサインアップしたユーザーに対し、ユーザーリクエストを確認するよう要求するものです。ユーザーは、サインアップ時に入力したアドレスに送信されるフォローアップメール中のリンクをクリックすることで確定します。確認ページの有効期間を設けるオプションもあります。(既定では3日間) サイト管理者に対し成功の確認、さらにサインアップフォームにセキュリティチェックを加えるよう知らせます。

## サイト管理の既知の問題および制限 (WBS30)

この項では、サイト管理のみに影響する既知の問題について説明します。WebEx でサポートされるブラウザ、OS、およびその他の WebEx サービスに影響する既知の問題の詳細は、[WebEx システム最小要件と機能対応のリリースノート \(WBS30\)](#)、(51 ページ) を確認してください。

### ブランディングとカスタマイズ

- 新しい WebEx ヘッダーでは 75 ピクセル以下のカスタムヘッダーは使用できません。ブランド済みサイトのヘッダーの高さが 75 ピクセル以下で、ヘッダーの HTML コードがカスタマイズされていない場合は、システムによりヘッダーの高さが自動的に 75 ピクセルに調整されます。
- ヘッダーナビゲーションの色が青または暗い色の場合、サイト管理ツールの [ログイン] および [ログアウト] リンクが見えづらくなります。

サイトのブランディングを行いたい場合は、カスタマサポートマネージャまでお問い合わせください。

### Safari ブラウザへの対応

サイト管理は Mac 版 Safari ブラウザに対応していません。

## CMR Hybrid (WebEx が有効な TelePresence) ミーティング

CMR Hybrid (WebEx が有効な TelePresence) ミーティング に次の問題が発生します。

- ビデオ帯域幅の問題発生率を軽減するには、サイト管理者が次のサイト管理オプションが CMR Hybrid ユーザーに対して設定されている必要があります:
  - WebEx VoIP およびビデオ接続の自動 UDP/TCP SSL 暗号化オプションが常に選択されていることを確かめてください。
  - [サイト設定 > サイトオプション] の順に選択し、最大ビデオ帯域オプションのチェックを入れます。この指定によりミーティング中のビデオの最大ビデオ帯域レートが設定されます。デフォルトは 15fps です。
  - 「OneTouch TelePresence オプション」で、[TelePresence 帯域幅最適化コントロールを有効にする]にチェックが入っていることを確認してください。ただし WebEx サポートが変更を進めない場合は除きます。
  - 「ミーティングオプション」で、[HD ビデオをオンにする] がオン担っていることを確認してください。これにより 360p 以上の解像度でビデオを転送することができます。

CMR Hybrid ミーティングの帯域幅推奨設定についての詳細は、[Cisco TelePresence Management Suite \(TMS\) 設定ガイド](#)ページにある、Cisco Collaboration Meeting Rooms (CMR) Hybrid 設定ガイドを参照してください。

- サイト管理者は、あなたのサイトで Meeting Center PRO TelePresence セッションタイプが有効になっていることも確認してください:
  - Meeting Center PRO TelePresence セッションタイプは通常の WebEx と Outlook の連携とは異なるユーザインタフェースを持つ WebEx 生産性向上ツールをユーザーに提供します。
  - あなたのサイト上の既存のユーザーに CMR Hybrid を提供する場合、Meeting Center Pro TelePresence セッションタイプにバッチを適用する必要があります。これは自動では有効にはならないためです。
  - サイトで CMR Hybrid が有効になると、Meeting Center PRO TelePresence セッションタイプのサイト管理オプションのとなりにある [新規ユーザーに既定値を適用する] に自動的にチェックが入ります。新規ユーザーに CMR Hybrid を自動的に適用させたくない場合は、[新規ユーザーに既定値を適用する] のチェックボックスのチェックを外してください。
  - Meeting Center TelePresence セッションタイプをベースにカスタマイズされた新しいセッションタイプを作成することも可能です。
- サイト管理者は WebEx 生産性向上ツールの CMR Hybrid ユーザインタフェースを変更することはできません。例えば、管理者は、Outlook 連携内の CMR Hybrid Meeting Options パネルのブランディングスタイルを変更すること、Meeting Options パネルおよび TelePresence、WebEx アドバンスド設定ダイアログボックス中の情報を非表示にすること、そしてビデオコールイン参加者数を制限すること、等の操作を行うことはできません。

- 画面共有 (旧称: デスクトップ共有) およびアプリケーション共有は CMR Hybrid ミーティングに対応しています。一部の標準的な共有 (ファイル共有、注釈、ホワイトボード共有) は CMR Hybrid ミーティングに対応していません。
- WBS29 からは録画が CMR Hybrid ミーティングに対応されるようになりましたが、次に記載する既知の問題と制限があります:
  - CMR Hybrid ミーティング録画は MP4 形式で保存されます。ビデオは 360p で録画されます。
  - 録画の再生を行うと、画面共有、アプリケーション共有、アクティブスピーカーのビデオカメラ、参加者リスト、チャット、投票を表示することができます。しかし、録画をダウンロードした場合は、画面共有、アプリケーション共有、音声は 1 個の MP4 ファイルになり、アクティブスピーカービデオカメラ、参加者リスト、投票は含まれません。

CMR Hybrid ミーティングの詳細については、WebEx Meeting Center よくある質問<http://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/webex-meeting-center/products-user-guide-list.html>の録画と再生の FAQ を参照してください。

- 十分な帯域幅を確保できない場合、CMR Cloud and CMR Hybrid ミーティングのプレゼンテーションとデータ共有を XGA (1024 x 768 解像度) の 5 fps 形式に下げることが可能です。TelePresence システムではユーザーは「レターボックス」システムを表示できます。WBS29.8 では、WebEx 全参加者のインターネット環境が 2 Mbps である場合、最大 720 p 解像度に対応しており、さらにデータ共有では、4:3 および 16:9 の両方の TelePresence システムの TelePresence システム画面全体をカバーするため、画面の切り落としはありません。WBS29.11 から、WebEx 参加者の環境が 3 Mbps である場合に、TelePresence Server 4.1 環境では Conductor XC 3.0、1080 p 解像度に対応するようになりました。ミーティング中の参加者が最小帯域幅要件を満たしていない場合、参加者全員のデータ共有解像度レベルが下がります。例えば、720 p 解像度が使用されていたが、1 人の参加者の帯域幅がしきい値を下回った場合に参加者全員に対してミーティング解像度が 720 p に下げられます。または、もし TelePresence Server 4.1 および Conductor XC 3.0 が使用されている場合では通常 1080 p に対応します。しかし 1 人の参加者の環境が 3Mbps を満たさない場合、データ共有解像度が全参加者に対して 720 p に落とされます。TelePresence システムから TelePresence システムへのプレゼンテーションおよびデータ共有の画質は変更されることはありません。解像度は TelePresence Server または Cisco TelePresence MCU シリーズの設定により異なります。WebEx アプリケーションから WebEx アプリケーションへのプレゼンテーションおよびデータ共有の画質はとても高いものです。これらのプレゼンテーションおよびデータ共有の画質の制限は、専用データレンダリング形式が使用される WebEx のみのミーティングには適用されません。
- 画面共有 (旧称: デスクトップ共有) およびアプリケーション共有は CMR Hybrid ミーティングに対応しています。一部の標準的な共有 (ファイル共有、注釈、ホワイトボード共有) は対応していません。
- Cisco TelePresence Management Suite (Cisco TMS) バージョン 14.4 以降、管理者による Cisco TMS の設定により、予定開始時刻の最大 5 分前に TelePresence 参加者が CMR Hybrid ミーティングに参加することができます。TelePresence は最初の TelePresence 参加者がミーティングにダイヤルするまでミーティングに参加できません。Cisco TMS はミーティングが開始予定時

刻になるまでダイヤルしません。詳細については、[Cisco TelePresence Management Suite \(TMS\) 設定ガイド](#)ページのCisco Collaboration Meeting Rooms (CMR) Hybrid 設定ガイドの「Configuring Conference Settings in Cisco TMS」の章の「Configuring Allow Early Join」を参照してください。

- CMR Hybrid ミーティングは「VoIP のみ」音声には対応していません。
- 大規模な CMR Hybrid ミーティングのスケジューリングを行うには、管理者が許容量制限を指定しておく必要があります。発言者以外の参加者をミュートにするには、参加者は WebEx および TelePresence の両方でミュートにされている必要があります。
  - 主催者は、WebEx アプリケーションから WebEx 参加者をミュートにすることができます。
  - 同じ TelePresence システムが複数ある場合、主催者は一方からもう一方の TelePresence 参加者をミュートにすることができます。管理者は TelePresence Server を介して TelePresence 参加者をミュートにすることができます。

